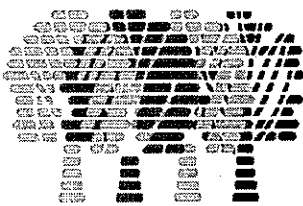


令和元年度要覧



埼玉県立

歴史と民俗の博物館

Saitama Prefectural Museum of History and Folklore

設置の目的・事業

埼玉県立歴史と民俗の博物館設置の目的は、資料の収集、保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図ることにより、教育や学術、文化の発展に寄与することにある。

その目的を達成するために、次の事業を行っている。

- 1 郷土埼玉の文化を総合的に捉え、その変遷と発展を知るための歴史及び民俗資料等について調査研究し、収集・保管し、展示する。
- 2 資料を適正に管理するとともに、文化財保存機関としての事業を行う。
- 3 資料の利用に関する必要な解説、案内、指導、助言等を行う。
- 4 資料に関する講演会、講習会、実演会、研究会等を主催し、開催を援助する。
- 5 資料に関する案内書、解説書、図録、調査報告書等を刊行し、頒布する。
- 6 他の博物館、学校その他の関係機関等と協力し、その活動を援助する。
- 7 その他当館の目的を達成するために必要な事業を行う。

もくじ

埼玉県立歴史と民俗の博物館の使命	1
沿 革	2
令和元年度事業計画	3
平成30年度事業報告	14
平成30年度利用者数	27
展示概要等	28
組織及び職員構成	31
施設設備	33
資 料	36
利用案内	39

埼玉県立歴史と民俗の博物館の使命

1 本館の使命

本館は、埼玉の歴史と民俗に関する資料を収集・保管し、総合的に調査研究することにより、埼玉の地域的特性を明らかにし、その成果を展示公開・情報発信するとともに、県民の学習活動や交流の場となることにより、県民各層の心豊かなくらしと新たな文化の創造に寄与する博物館です。

私たちは、博物館に携わるすべてのマンパワーと資源を駆使して、埼玉の魅力をアピールするとともに、県民と協働した生涯学習を推進する中核的生涯学習施設としての役割を果たします。

- 1 県民共有の文化遺産である埼玉の歴史・民俗・美術工芸に関する資料を収集・保管・活用するとともに、調査研究して、次世代に継承します。
- 2 埼玉の歴史と民俗に関する地域的特性を明らかにした調査研究の成果を展示公開するとともに、国内外に情報発信します。
- 3 地域や学校と連携することにより、県民の参画と交流による学習の場として、埼玉の歴史や民俗に関する生涯学習や学校教育を支援します。
- 4 県内の博物館ネットワークの中核的施設として、市町村の歴史・民俗系の博物館を中心に、その事業や活動を支援します。
- 5 ボランティアやミュージアムクルーの育成・活用等を積極的に進めるとともに、様々な事業において、学校や地域社会の幅広い人材と広く連携・協働し、開かれた博物館活動を展開します。
- 6 埼玉の歴史や民俗に関する資料を核にして県民が集い、交流し、活動するやすらぎと潤いのある快適空間を提供します。

【 本館の経緯 】

本館は、旧県立博物館と旧県立民俗文化センターを統合し、平成18年4月1日に誕生した歴史、民俗、美術工芸の分野を広域的、総合的、多元的に扱う人文系総合博物館である。

母体となった2館のうち、旧県立博物館は、昭和46年11月、明治4年の埼玉県誕生から100年を記念して、人文系総合博物館として開館した。その後、昭和57年11月の県立近代美術館の開館を機に、展示室を全面的に改装して歴史系博物館に衣替えし、昭和58年11月に新装開館した。

一方、昭和55年11月に開所した旧県立民俗文化センターは、民俗芸能及び民俗工芸を調査研究の対象とする施設として全国に先駆けた存在であった。

その後、平成17年2月に策定された「県立博物館施設再編整備計画」により両館が統合され、収蔵資料はもとより長年培ってきた調査研究の成果を結集して、新たに「埼玉県立歴史と民俗の博物館」として発足した。

沿革

昭和

- 34年12月 埼玉県立博物館の設置についての請願を
県議会において採択
- 43年8月 埼玉県立博物館建設基本構想を決定
- 11月 設計を(株)前川國男建築設計事務所へ委託
- 44年9月 博物館建設工事費として13億円を計上
- 10月 県立文化会館を廃止し、新たに県立博物館
準備事務所を県立浦和図書館内に設置
- 46年11月 埼玉県立博物館条例を制定、開館
- 47年9月 「太平記絵巻(巻第一)」を購入
- 12月 博物館法第11条に基づく登録博物館となる
- 51年1月 文化財保護法第48条に基づく国宝・重要文
化財の勧告・承認出品の展示館となる
- 52年4月 5月5日(祝)を開館日とする
- 55年4月 4月29日(祝)、5月3日(祝)を開館日
とする
- 11月 埼玉県立民俗文化センター開所
- 58年11月 埼玉県立博物館新装開館、開館記念特別展
「武蔵武士」開催
- 12月 国宝「太刀」(銘備前国長船住左兵衛尉景光)
を購入
- 60年4月 エントランスホール、館庭等を無料開放
元日を除く国民の祝日を開館日とする

平成

- 3年10月 開館20周年記念展「さいたまの名宝」
開催、記念図録出版
- 5年4月 国宝「短刀」(銘備前長船住景光)を購入
- 6年3月 障害者対応型エレベータ設置
- 6年4月 高齢者(65歳以上)及び障害者等の入館料
無料化
幼児コーナー及び休憩コーナーを開設

平成

- 7年4月 義務教育終了前の者の入館料無料化
- 10月 「太平記絵巻(巻第七)」を購入
- 8年4月 「太平記絵巻(巻第二)」を購入
- 10年6月 インターネットのホームページ開設
- 11月 当館が「公共建築百選」に選定
- 12年5月 拡大常設展「博物館の広場」開催
- 13年11月 「太平記絵巻(巻第十)」を購入
- 14年5月 2002 FIFA ワールドカップ™ 記念特別展
「蹴鞠-KEMARI-」開催
- 7月 「太平記絵巻(巻第六)」を購入
- 11月 当館が第4回日本建築家協会25年賞受賞
- 16年10月 清子内親王殿下 お成り
- 18年4月 県立博物館施設再編整備計画により、埼玉
県立博物館と埼玉県立民俗文化センターを
統合、埼玉県立歴史と民俗の博物館設置
- 19年3月 関東地区博物館協会初の共同企画展「祈り
の風景ー埼玉の絵馬ー」開催
- 4月 体験学習施設「ゆめ・体験ひろば」を開設
- 20年3月 大規模改修及び耐震補強工事第Ⅰ期完了
- 21年10月 交流企画展「出張博物館 in 深谷」開催
「まなびピア埼玉2009」出展
- 22年2月 大規模改修工事第Ⅱ期完了
- 23年3月 大規模改修工事第Ⅲ期完了
階段昇降機設置
- 24年9月 天皇皇后両陛下 行幸啓
- 25年6月 秋篠宮文仁親王殿下 お成り
- 7月 65歳以上の観覧料減免措置廃止
- 26年8月 入館者累計500万人達成
- 28年2月 特別展示室非構造部材耐震対策工事完了
- 29年3月 南通用門の開放及びゆめ・体験ひろばに自
動ドアを設置
- 31年2月 Saitama Free Wi-Fi設置、運用開始

令和元年度 事業計画

◆事業運営の基本方針

1 事業運営の方針

平成18年4月、当館は、歴史、民俗、美術工芸の分野を広域的、総合的、多元的に扱う人文系総合博物館である「埼玉県立歴史と民俗の博物館」として、再出発を果たした。

以来、常設展示室及び収蔵庫の改装、資料の一元的管理の実施、ゆめ・体験ひろばの開設等の事業を着実に進めることで新しい博物館としての体制を整えるとともに、耐震改修及び大規模改修工事を実施し、より安全、安心な施設として生まれ変わっている。

令和元年度は、博物館事業の基本となる埼玉の歴史と民俗に関する資料を適切に収集・保存・修復し、総合的に調査研究することにより、埼玉らしさを明らかにする。そしてその成果を展示公開するなど最大限に活用を図り、国内外へ情報発信に努める。学習支援事業を推進し、学校や地域等との連携を深め、県民利用の一層の促進を図る。地域文化及び学術研究施設として、県内の博物館施設のセンター的役割を果たすべく努力する。

さらに、少子高齢化やグローバル化の進展にともない、県民を中心に世界中の人々が誰でも参加できる親しみやすい事業運営に努め、多様な「人財」の育成並びに生涯にわたる学びを支援できるよう工夫し、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、人に優しい開かれた博物館づくりを進める。

【主な施策】

- (1) 調査研究に基づく、資料の収集・保管と展示の充実
- (2) 常設展及び特別展に関わる調査と資料収集、展示の充実
特別展2回及び企画展2回の開催
- (3) 県民の学習支援の推進と講座・講習会等の充実
- (4) 学習成果を生かす体験学習・展示解説ボランティア活動の促進
- (5) 高度情報化に対応した広聴・広報活動の充実
- (6) 学校教育・社会教育・地域社会・民間団体等との連携

2 事業運営の重点的な取組

- (1) 総合的有害生物管理と資料総点検作業の計画的な実施
- (2) 埼玉の潜在的な文化遺産を活用するための組織的、継続的な調査研究の実施
- (3) 他の博物館・美術館や民間団体との連携による「埼玉ならではの価値」を発信する魅力的な特別展・企画展の開催
- (4) 東京2020大会（※）等の国際的なイベントに向けた国内外への情報発信と外国人受入環境の整備をはじめとする「おもてなし」力の強化・充実
- (5) 東京2020大会期間中の展示公開に向けた「太平記絵巻」の展示環境の整備並びに体験事業の充実
- (6) 「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた学校教育との連携の強化
- (7) 「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」連絡協議会等関係機関とのネットワーク機能の充実
- (8) 県民の「健康長寿」と共に歩む博物館の推進

※ 東京2020大会：東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

◆主要事業計画

1 調査研究事業

- (1) 「埼玉の地方文化とその特性―地域文化圏に関する調査研究―」を館職員の調査研究共通テーマとし、その成果を『紀要』に掲載
- (2) 『紀要』第14号の編集、発行
- (3) 文化遺産活用調査事業『無形民俗文化財調査研究事業』『巡り・廻りの民俗行事』の実施
- (4) 文化遺産活用調査事業『歴史遺産調査研究事業』『『新編武蔵風土記稿』総合調査』の実施
- (5) 次年度開催特別展・企画展に関する調査研究
- (6) 第9回学芸員合同研究発表会ミュージアムフォーラムへの参加

2 資料調査事業

(1) 資料の収集

埼玉県歴史・文化・伝統を象徴するコレクションの形成・充実に重点を置いた購入・受贈を図り、さらに無形民俗文化財の映像等による記録保存にも努める。

(2) 資料の整理・保存・管理

収集した資料を整理し、保存管理に万全を期するため、毎月資料総点検を実施するほか、劣化の進んだ資料については修理を実施する。さらに総合的有害生物管理(Integrated Pest Management 略してIPM)を実施して、虫菌害予防のための資料保存・管理及び対策を図る。

・「平治物語絵詞(模本)」ほかの修理

(3) 館施設の防虫消毒

第1期 6月11日(火)～6月12日(水) 休館期間 6月10日(月)～6月17日(月)

第2期 9月 9日(月)～9月10日(火) 休館期間 9月 9日(月)～9月10日(火)

(4) 減圧滅菌装置による初発燻蒸

新規受入資料及び外部借用資料等の減圧滅菌装置による燻蒸殺虫を適宜行い、有害虫及び有害菌の防除に万全を期する。

(5) 嵐山史跡の博物館・文化財収蔵施設等にある当館所蔵の民俗資料を適切に管理する。

3 常設展示事業

(1) 展示替え

① 美術展示(第4室)

「金工品」	平成31年2月 5日(火) ～	4月21日(日)
「慈光寺経と小水麻呂経」	4月23日(火) ～	令和元年6月 9日(日)
「観仏三昧」	6月18日(火) ～	9月 1日(日)
「たてもの・いろいろ」	9月 3日(火) ～	10月 6日(日)
「うた詠む人々」	10月 8日(火) ～	12月 8日(日)
「武士と美術」	12月10日(火) ～	令和2年1月19日(日)
「花・いろいろ」	1月21日(火) ～	3月 8日(日)
「女性と美術」	3月10日(火) ～	3月31日(火)

② 歴史特集展示（第9室）※は第3室

「埼玉の人物 蓮田出身の政治家・実業家 飯野喜四郎」

	平成31年1月22日(火)	～	4月21日(日)
「渋沢栄一と埼玉の近代」	4月23日(火)	～	令和元年7月21日(日)
「戦争と学校」	7月23日(火)	～	10月20日(日)
※「国宝 太刀・短刀」	9月14日(土)	～	11月17日(日)
「江戸のお金」	10月22日(火)	～	令和2年1月26日(日)
「引札に見る世相」	1月28日(火)	～	3月31日(火)

③ 民俗コラム展示（第10室）

「魚をめぐる信仰」	平成31年2月 5日(火)	～	令和元年7月21日(日)
「神楽」	7月23日(火)	～	12月 8日(日)
「はかる道具」	12月10日(火)	～	令和2年3月31日(火)

④ 季節展示（季節展示室）

特別展・企画展の関連展示や時宜に合ったテーマの小展示などを実施する。

「特別展 東国の地獄極楽」関連	平成31年3月16日(土)	～	令和元年5月 6日(月・木)
「収蔵品紹介」	5月14日(火)	～	7月 7日(日)
「企画展 北沢楽天と時事漫画」関連	7月13日(土)	～	9月 1日(日)
「収蔵品紹介」	9月11日(水)	～	9月29日(日)
「特別展 子ども/おもちゃの博覧会」関連	10月12日(土)	～	11月24日(日)
「企画展 縄文時代のたべもの事情」関連	令和2年1月 2日(木)	～	2月16日(日)
「特別展 武蔵国の旗本」関連	3月20日(金・初)	～	5月10日(日)

⑤ 定例展示替え

毎月最終月曜日を目安に展示替えを実施。

(2) 国宝・重要文化財の公開

国宝：法華経一品経（ときがわ町・慈光寺）

	4月23日(火)	～	6月 9日(日)	第4展示室
国宝：太刀	9月14日(土)	～	11月17日(日)	第3展示室
国宝：短刀	9月14日(土)	～	11月17日(日)	第3展示室

重文：雲版（飯能市・長光寺）

	平成31年2月 5日(火)	～	4月21日(日)	第4展示室
--	---------------	---	----------	-------

重文：銅造阿弥陀如来立像（神川町・光明寺）

	平成31年3月16日(土)	～	令和元年5月 6日(月・木)	特別展示室
--	---------------	---	----------------	-------

重文：宋版一切経（川越市・喜多院）

	平成31年3月19日(火)	～	令和元年6月 9日(日)	第7展示室
--	---------------	---	--------------	-------

重文：三十六歌仙額（川越市・仙波東照宮）

	10月 8日(火)	～	12月 8日(日)	第4展示室
--	-----------	---	-----------	-------

重文：熊野神社境内古墳出土品（桶川市・熊野神社） 通年 第2展示室

(3) 重要有形民俗文化財の展示

重民：北武蔵の農具

	6月18日(火)	～	令和2年3月31日(火)	第10展示室
--	----------	---	--------------	--------

4 特別展・企画展示事業

(1) 特別展

名称・開催期間	展 示 内 容
特別展 「東国の地獄極楽」 平成31年3月16日(土)～ 令和元年5月6日(月・休)	地獄と極楽の観念は、仏教の死後の世界観として古来人々の関心を集めてきました。本展では中世以降の東国における浄土信仰の広がりについて、埼玉県に関わる美術品や歴史資料を中心に探ります。 開催日数：47日(令和元年度32日) 展示資料：約80点 [関連事業] ・落語会「じごく・ごくらく・らくご会」 日時：3月24日(日)13:30～15:30 出演：桂文治氏(落語家) 定員：120名 ・記念講演会「死者のゆくえー往生の思想と美術ー」 日時：4月13日(土)14:00～15:30 講師：吉村稔子氏(神田外語大学教授) 定員：150名 ・歴史民俗講座「冥途のみやげー地獄めぐりの美術ー」 日時：4月27日(土)14:00～15:30 講師：西川真理子(当館学芸員) 定員：150名 ・地獄・極楽テーマ解説 ①極楽編 3月30日(土)13:30～14:00 ②地獄編 4月20日(土)13:30～14:00 ・展示解説：3月17日(日)、4月6日(土)、5月6日(月・休)
特別展 「子ども/おもちゃの博覧会」 10月12日(土)～11月24日(日)	いつの時代も、子どもたちとともにあった玩具。その時々々の社会や世相が映し出された玩具からは、人々が子どもに向けたまなざしがうかがえます。江戸時代から戦後のさまざまな玩具を通じ、子どもや子どもをめぐる社会の移り変わりとその意味を探ります。 開催日数：40日 展示資料：約200点 [関連事業] ・記念講演会 日時：10月27日(日)14:00～15:30 講師：是澤博昭氏(大妻女子大学教授) 定員：150名 ・歴史民俗講座 日時：10月19日(土)14:00～15:30 講師：当館学芸員 定員：150名 ・展示解説

特別展 「武蔵国の旗本」 令和2年3月20日（金・祝） ～5月10日（日）	江戸時代、武蔵国には多くの旗本知行所が置かれました。本展では、旗本の家や菩提寺などに伝わる様々な歴史資料や美術品から、かつて埼玉を治めたお殿様「旗本」の実態に迫ります。 開催日数：47日（令和元年度11日） 展示資料：約100点 [関連事業] ・記念講演会 ・シンポジウム ・歴史民俗講座 ・展示解説
--	--

(2) 企画展

名称・開催期間	展 示 内 容
企画展 「北沢楽天と時事漫画」 7月13日(土)～ 9月 1日(日)	「時事漫画」は、漫画家・北沢楽天が中心となり、大正10年(1921)に創刊された新聞の日曜版付録です。政治をはじめ、芸能、生活の知恵に至るまで、漫画や写真をふんだんに使った記事で人気となった時事漫画の魅力を紹介します。 開催日数：46日 展示資料：約100点 [関連事業] ・記念講演会 ・ジュニア博物館講座 日時：8月17日(土) ・特別イベント ・展示解説
企画展 「縄文時代のたべもの事情」 令和2年1月2日(木) ～2月16日(日)	縄文時代の人々は、天然資源から多様な道具を生み出すことで生活を営んでいました。それら土器、石器、木製品などの紹介を通じ、当時の人々の食事情や、人と自然との関係を紐解きます。 開催日数：41日 展示資料：約150点 [関連事業] ・歴史民俗講座 日時：2月1日(土)14:00～15:30 講師：当館学芸員 定員：150名 ・記念講演会 ・展示解説

(3) 令和2年度開催予定特別展・企画展の準備

令和2年度に開催する予定の展覧会の準備を進める。

5 生涯学習支援事業

(1) 講座・講習会等の開催

① 歴史民俗講座（6回）

期日： 4月27日(土)、6月8日(土)、8月3日(土)、10月19日(土)、
12月14日(土)、令和2年2月1日(土) 各日とも14:00~15:30

対象：一般

定員：各150名

② 民俗芸能講習会「おかめ・ひょっとこの舞」

期日：6月2日(日)、9日(日)、23日(日)、30日(日) 全4回

対象：一般

定員：40名

③ 民俗工芸実演

刀身彫刻

期日：9月28日(土)

対象：一般

唐紙製作

期日：令和2年1月13日(月・祝)

対象：一般

④ ジュニア博物館講座

期日：8月17日(土)

対象：小・中学生

定員：20名

(2) 実習・研修等の受入れ

① 博物館学芸員実習（7日間）

期間：6月20日(木)~21日(金)、25日(火)~28日(金)、及び7~8月中に当
館が指定する1日の全7日間

定員：45名

② 博物館見学実習

期間：通年(随時受入れ)

③ 教員研修等の受入れ

④ 総合的な学習・中学生職場体験・インターンシップの受入

期間：通年(随時受入れ)

⑤ 博物館教育利用セミナー

期日：8月1日(木)、2日(金)(予定)

対象：小・中・高・特別支援学校教員

定員：30名

(3) 学校団体の受入れ

① 学校連携(来館対応)

② 学校連携(出前授業)

期間：通年(随時受入れ)

対象：小・中学校

③ 「主体的・対話的で深い学び」の博物館利用の検討

(4) デリバリー事業等の実施

① 県政出前講座

② 市町村等連携

(5) ボランティアの受入れ

① 体験学習ボランティアの育成と運営

ボランティアによるゆめ・体験ひろばでの体験学習指導補助とスキルアップ研修を行う。

② 展示解説ボランティアの育成と運営

ボランティアによる常設展の展示解説を、開館期間中、原則毎日行う。

6 ゆめ・体験ひろば事業

(1)「ものづくり工房」通常体験メニュー

期日：通年

対象：児童・生徒・一般（未就学児は保護者同伴）

定員：なし、当日受付

- ① 藍染めハンカチ
- ② 江戸組紐ストラップ
- ③ 絵馬
- ④ 歴史ぬりえ
- ⑤ 絵巻物
- ⑥ まが玉
- ⑦ 浮世絵スリスリマシン
- ⑧ 季節のミニアート
- ⑨ 編布コースター
- ⑩ コバトンペーゴマ

(2)「ものづくり工房」特別体験メニュー

- ① 藍の絞り染めTシャツ作り

期日：5月17日（金）

対象：大人

定員：20名

- ② 藍の型染めトートバック作り

期日：6月26日（水）、27日（木）

対象：大人

定員：各日20名

- ③ 木版浮世絵を摺る

期日：7月18日（木）、令和2年1月23日（木）

対象：大人

定員：各日10名（各日2回実施・定員各回5人）

- ④ 江戸組紐キーホルダーと眼鏡紐作り

期日：10月11日（金）

対象：大人

定員：20名

- ⑤ ミニ銅鏡作り

期日：令和2年1月18日（土）

対象：小学生以上

定員：20名

- ⑥ 江戸組紐帯締め作り

期日：令和2年2月14日（金）、21日（金）（2回連続）

対象：大人

定員：20名

- ⑦ 型付け藍染め

期日：令和2年2月29日（土）

対象：大人

定員：12名

(3)「昭和の原っぱ」イベント

- ① 博物館子供まつり～射的遊び・兜をかぶろう

期日：5月5日（日・祝）

対象：中学生以下

兜をかぶろうは5月1日（水・祝）～5月6日（月・休）も開催

- ② 博物館春まつり～ポン菓子作りの実演

期日：令和2年3月14日（土）

対象：児童・生徒・一般

(4) その他特別体験事業

① 十二単・小桂と男子装束の着装体験

期日：4月20日(土)、10月5日(土)、令和2年1月11日(土)

対象：十二単と小桂は小学生以上、男子装束は高校生以上

定員：各日14名

② 十二単・小桂の着装体験

期日：6月8日(土)、11月30日(土)、令和2年3月7日(土)

対象：小学生以上

定員：各日14名

③ 火おこし体験教室

期日：11月2日(土)、12月7日(土)、令和2年2月22日(土)

対象：小学生以上

定員：各日20名(各日4回実施・定員各回5人)

④ お囃子体験教室「さんてこ囃子」

期日：6月29日(土)、11月9日(土)

対象：小学生以上(未就学児は保護者同伴)

定員：各日25名

⑤ 甲冑の着装体験

期日：5月25日(土)、令和2年2月15日(土)

対象：小学生以上

定員：各日18名

⑥ ベーゴマ教室

期日：10月19日(土)

対象：小学生以上

定員：30名

(5) 博物館クルーの育成・活用

「ゆめ・体験ひろば」等の体験メニューや博物館の事業の運営に協力するための高度な技術を持つ人々を育成し、活用する。

(6) キッズクルーの募集

将来の埼玉文化の継承者や良き博物館利用者の育成及びゆめ・体験ひろば等における子供対象事業への参加促進を図るため、「キッズクルー」の募集を行う。

対象：県内在住の小学生中心

(7) 高齢者・障害者等の利用促進に係る検討

7 その他の主催事業

(1) 弥生時代復元住居見学会

期日：4月28日(日)、11月14日(木・県民の日)

対象：一般

(2) 正月臨時開館関連事業

① 正月イベント「博物館でお正月」福笑い

期日：令和2年1月2日(木)

対象：児童・生徒・一般

② 正月イベント「博物館でお正月」投扇興

期日：令和2年1月3日(金)

対象：児童・生徒・一般

③ 正月イベント「クイズラリー」(常設展)

期日：令和2年1月2日(木)～3日(金)

対象：一般

(3) 博物館裏方探検隊

普段見ることのできない博物館のバックヤードを学芸員が案内する。

原則毎週土曜日の午後実施 対象：一般 定員：なし

8 関係団体・機関との連携等

- (1) 埼玉県博物館連絡協議会の運営等（会長・事務局）
 - ① 総会・理事会・研究会・講習会・見学会・県外研修会等の開催
 - ② ホームページの管理・運営
- (2) 関東地区博物館協会の運営（副会長・埼玉県代表幹事館）
- (3) 全国歴史民俗系博物館協議会の運営（関東ブロック幹事館）
- (4) 日本博物館協会の活動（参与）
- (5) 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会との連携・交流
- (6) 県政出前講座の受け入れ
- (7) 埼玉県文化財保護協会と共催による文化財講習会の開催 7月24日（水）～7月25日（木）
- (8) 「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」連絡協議会の運営等（会長・事務局）
- (9) 東京の美術館・博物館共通入館券「ぐるっとパス2019」への参加
- (10) 東京2020大会等の国際的なイベントに向けた取り組み
- (11) 埼玉県訪日教育旅行誘致・受入推進協議会への参加
- (12) その他関係団体・民間企業との連携

9 広聴広報

- (1) 広聴
 - ① 講座・講演会・特別展等アンケート計画の策定と実施
 - ② 入館者からの意見聴取計画の策定と実施
- (2) 広報
 - ① イベントガイド・博物館だより・ポスターほか
 - ② 彩の国だより・県教委だよりほか
 - ③ 新聞・雑誌・テレビ・ラジオほか
 - ④ インターネット・SNSによる情報発信
 - ⑤ 当館ホームページの管理・運営
 - ⑥ イベントブース出展、自治会回覧等による地域広報
- (3) レファレンスサービス

10 各種印刷物の刊行

- (1) 『紀要』第14号
- (2) 展示図録等
 - ① 特別展「子ども/おもちゃの博覧会」
 - ② 特別展「武蔵国の旗本」
- (3) その他
 - ① 令和2年度イベントガイド
 - ② 見学のしおり（多言語版）
 - ③ 令和元年度要覧
 - ④ 博物館だより web 版（第40～42号）
 - ⑤ 講座・講演会・体験学習等のテキスト
 - ⑥ 学校と博物館の連携利用案内（令和2年度版）
 - ⑦ 無形民俗文化財調査事業 巡り・廻りの民俗行事調査総括報告書

11 環境整備と施設設備の保全事業

大宮公園の風致と調和した環境の保全及び施設設備の維持管理を図り、広く県民の利用及び資料の保全に万全を期する。

1 2 国際的なイベントに向けた取り組み

東京 2020 大会オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みを推進する。

- ① 展示公開に向けた「太平記絵巻」の展示環境の整備
- ② ゆめ・体験ひろばで実施する体験事業の充実に向けた新規メニューの開発
- ③ 国内外への情報発信体制の強化
- ④ 館内サインなど、外国人に対する受入環境の整備
- ⑤ 利用者の利便性を考慮した電子決済システムの推進
- ⑥ 県立博物館施設 8 館合同ホームページ「SAITAMAおもてなしミュージアム」の管理・運営

平成30年度 事業報告

1 調査研究事業

分野ごとの基礎的・分類的・形態学的調査研究、展示・教育・運営等博物館活動の諸分野に関する研究、資料の収集・保存に関する技術的研究など、博物館活動の基礎となる調査研究のほか、次の事業を行った。

- (1) 常設展示資料にかかる資料研究
- (2) 『紀要』第13号の刊行(600部)
- (3) 文化遺産活用調査事業『無形民俗文化財調査研究事業』「巡り・廻りの民俗行事」の実施
- (4) 文化遺産活用調査事業『歴史遺産調査研究事業』『新編武蔵風土記稿』総合調査の実施
- (5) 次年度開催特別展・企画展に関する調査研究
- (6) 第8回学会員合同研究発表会ミュージアムフォーラム2019 テーマ「木」での発表
- (7) 「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」連絡協議会による博物館等の連携事業

2 資料の収集・保存・管理事業

常設展示や特別展示等の充実及び歴史系総合博物館にふさわしい魅力あるコレクションを形成するため、資料収集方針及び資料評価会議の指導に基づき資料を収集した。

また、資料の虫菌害対策や、保存環境の整備のため、定期的に清掃を実施した。

(1) 資料の収集

新規受け入れ資料として23件954点を収集した。

① 購入(8件61点)

- | | |
|-----------------------|-----|
| ・稲葉華溪「絹本着色 芭蕉三十六俳人之図」 | 1点 |
| ・北沢楽天関連資料 | 15点 |
| ・近代地図資料 | 3点 |
| ・時事漫画昭和2年～4年 | 15点 |
| ・志ん版 志んぶんづくし | 2点 |
| ・近代双六資料(家族旅行日本名所双六ほか) | 10点 |
| ・横田陶器製作所年賀はがき | 1点 |
| ・足軽胴・籠手・脛当 | 14点 |

② 受贈(14件891点)

- | | |
|------------------------|------|
| ・第18回オリンピック競技大会入場券水泳ほか | 43点 |
| ・昭和40年代グラフ誌 | 2点 |
| ・榮週叢書 麦作篇ほか教科書等資料 | 32点 |
| ・大宮市北部土地区画整理関連図面 | 4点 |
| ・電動計算機マーチャント | 1点 |
| ・婚礼道具一括資料 | 28点 |
| ・俳諧関係資料 | 3点 |
| ・大般若波羅蜜多經卷第99ほか文書資料 | 4点 |
| ・戦時債権 | 8点 |
| ・勲八等瑞宝章ほか記章 | 5点 |
| ・『祖庭 長岡安平翁造庭遺稿』 | 1点 |
| ・子供服雛型 | 139点 |
| ・銘仙関係資料(木村和恵コレクション) | 599点 |
| ・旧成川家寄託資料 | 22点 |

③ 保管転換(1件2点)

- | | |
|----------------------|----|
| ・瓦塔、瓦堂複製品(美里町東山遺跡出土) | 2点 |
|----------------------|----|

(2) 資料の整理・保存・管理

① 資料管理

- ・ I P M 委員会の開催 4月24日(火)
- ・ 収蔵庫定期清掃の実施 月2回(第2・4木曜日)
- ・ 有害生物生息状況調査の実施 月1回(月末火曜日又は水曜日)
- ・ 収蔵庫ほか忌避剤散布作業 6月12日(火)～13日(水)
9月10日(月)～11日(火)
7月 3日(火)～ 4日(水)
8月10日(金)～24日(金)
10月 3日(水)～ 4日(木)
10月 3日(水)～17日(水)
1月16日(水)～17日(木)
- ・ 搬入展示資料等の燻蒸

② 嵐山史跡の博物館・文化財収蔵施設等にある当館所蔵の民俗資料の管理

- ・ 収蔵庫定期清掃の実施 5回
- ・ 有害生物生息状況調査の実施 月1回(月末火曜日又は水曜日)

③ 資料の修理

- ・ 埼玉県指定文化財「太平記絵巻 第六巻」1巻
- ・ 「四睡図」1幅
- ・ 「武蔵七党系図」1冊

(3) 資料の貸出、特別利用(フィルム等の貸出、資料の熟覧等)

- ① 貸出 京都国立博物館、国際交流基金ほか 18件(66点)
- ② 特別利用 NHKエンタープライズ、神奈川県立金沢文庫ほか 138件(904点)

3 常設展示事業

「埼玉における人々の暮らしと文化」をメインテーマに、総合的な視野で時代の推移が理解できるような展示に努めた。また、調査や研究に基づく展示替えや特別公開などにより、展示内容の充実を図った。

(1) 展示替え

① 美術展示(第4室)

- 「国宝 慈光寺経」 平成30年 3月20日(火) ～ 5月13日(日)
- 「旅のたのしみ」 5月15日(火) ～ 6月10日(日)
- 「円空仏」 6月19日(火) ～ 9月 2日(日)
- 「新編武蔵風土記稿と文化財」 9月 4日(火) ～ 10月28日(日)
- 「太平記の時代」 10月30日(火) ～ 12月16日(日)
- 「吉祥」 12月18日(火) ～ 平成31年 2月 3日(日)
- 「金工品」 2月 5日(火) ～ 4月21日(日)

② 歴史展示(I第9室・II第3室・III第7室)

- 「特集展示Ⅰ 戦争と報道」 平成30年6月19日(火) ～ 8月26日(日)
- 「特集展示Ⅱ 国宝公開 太刀 銘景光・景政」
11月 3日(土・祝) ～ 平成31年 2月 3日(日)
- 「特集展示Ⅱ 国宝公開 短刀 銘景光」 2月 5日(火) ～ 3月 3日(日)
- 「特集展示Ⅲ 旗本・水野氏の菩提寺 昌国寺」
2月 5日(火) ～ 4月21日(日)

<人物コーナー(第9室)>

埼玉ゆかりの人物を紹介した。 ※…埼玉県立文書館と共催

- ※「民権結社 七名社の人々」 平成30年1月23日(火) ～ 4月22日(日)

- ※「本庄宿の豪商 戸谷半兵衛」 4月24日(火) ～ 7月22日(日)
 ※「文明開化の先駆者 清水卯三郎」 7月24日(火) ～ 10月21日(日)
 ※「農村の国学者と歌人 井上淑蔭と林信海」
 10月23日(火) ～ 平成31年 1月20日(日)
 ※「蓮田出身の政治家・実業家 飯野喜四郎」
 1月22日(火) ～ 4月21日(日)

③ 民俗展示 (第10室)

- 「民俗コラム展示Ⅰ 船大工」 平成30年2月10日(土) ～ 6月10日(日)
 「民俗コラム展示Ⅱ 玩具・絵馬」 6月19日(火) ～ 10月21日(日)
 「民俗コラム展示Ⅲ 笠と傘」 10月23日(火) ～ 平成31年 2月 3日(日)
 「民俗コラム展示Ⅳ 魚をめぐる信仰」 2月 5日(火) ～ 令和元年 7月21日(日)

④ 季節展示 (季節展示室) ※…埼玉県立文書館と共催

特別展・企画展の関連展示や時宜に合ったテーマの小展示などを実施した。

- 「企画展 田んぼ」関連 平成30年3月17日(土) ～ 5月 6日(日)
 「新収集品展 平成28・29年度収集資料」 5月19日(土) ～ 6月24日(日)
 ※「企画展 古文書 大公開!」関連 7月14日(土) ～ 9月 2日(日)
 「特別展 ダムと変わる! 私たちの暮らし」関連
 10月20日(土) ～ 12月 2日(日)
 「企画展 埼玉の官衙」関連 平成31年 1月 2日(水) ～ 2月17日(日)
 「特別展 東国の地獄極楽」関連 3月16日(土) ～ 令和元年 5月 6日(月・祝)

⑤ 定例展示替え

毎月最終月曜日を目安に展示替えを実施した。

(2) 国宝・重要文化財の公開

国宝 法華経一品経 (ときがわ町・慈光寺)

平成30年3月20日(火) ～ 5月13日(日) 第4展示室

国宝 太刀 11月 3日(土・祝) ～ 平成31年 2月 3日(日) 第3展示室

国宝 短刀

平成31年 2月 5日(火) ～ 3月 3日(日) 第3展示室

・「刀剣乱舞—ONLINE—」コラボレーション企画

関連事業「おっかい このすけ撮影会&名刺プレゼント」 2月23日(土)

参加者 500名

当館オリジナル「謙信景光」グッズ販売 (クリアファイル、缶バッジ、ポストカード)

重文: 絹本着色高野明神像 (越生町・法恩寺)

平成30年 9月 4日(火) ～ 9月30日(日) 第4展示室

重文: 絹本着色丹生明神像 (越生町・法恩寺)

9月 4日(火) ～ 9月30日(日) 第4展示室

重文: 三十六歌仙額 (川越市・仙波東照宮)

9月 4日(火) ～ 10月28日(日) 第4展示室

重文: 雲版 (飯能市・長光寺)

平成31年 2月 5日(火) ～ 4月21日(日) 第4展示室

重文: 銅造阿弥陀如来立像 (神川町・光明寺)

3月16日(土) ～ 令和元年 5月 6日(月・祝) 特別展示室

重文: 熊野神社境内古墳出土品 (桶川市・熊野神社)

通年 第2展示室

重文: 宋版一切経 (川越市・喜多院)

3月19日(火) ～ 6月 9日(日) 第7展示室

重文：瓦塔・瓦堂（美里町・東山遺跡）

平成30年 4月 1日(日) ～

11月25日(日)

第3展示室

平成31年 1月 2日(水) ～

2月17日(日)

特別展示室

(3) 重要有形民俗文化財の展示

北武蔵の農具

平成30年 3月17日(土) ～

5月 6日(日)

特別展示室

4 特別展示・企画展示事業

当館の主催又は関係団体との共催により、特定のテーマに基づいて資料を収集・構成し、特色ある特別展・企画展を開催した。特に、夏期企画展では、埼玉県立文書館との共催による展示及び関連事業を実施した。

(1) 企画展「田んぼ―埼玉、人と水の風景―」

期 日 平成30年3月17日(土)～5月6日(日)

趣 旨 人びとは、古くから工夫をこらし、地域の環境に即した田んぼを生み出してきた。埼玉の多様な田んぼと農耕技術、祭り行事や信仰を通して、人と水が織りなす埼玉の田んぼ風景を紹介した。

展示資料総数 125点

開館日数 47日

会期中観覧者 4,415名

〔関連事業〕

・オープニングイベント

民俗芸能公演「日進の餅搗き踊り」(平成29年度)

期 日 3月18日(日)

講 師 日進餅搗き踊り保存会

参加者 175名

・民俗工芸実演「加須のわら細工」(平成29年度)

期 日 3月24日(土)

講 師 加須市わら細工保存会

参加者 70名

・記念講演会「田んぼは米のみにあらず―さまざまな作物が育つ日本の水田環境―」

期 日 4月14日(土)

講 師 渡部鮎美氏(放送大学非常勤講師)

参加者 77名

・歴史民俗講座「農具百珍」

期 日 4月28日(土)

講 師 戸邊優美(当館学芸員)

参加者 63名

・展示解説

期 日 3月21日(水・祝)、24日(土)、31日(土)、4月7日(土)、21日(土)、
28日(土)、5月5日(土)、6日(日)

会期中 全8回実施

8回計 157名

(2) 企画展「古文書 大公開!―みる・よむ・しらべる埼玉―」

期 日 平成30年7月14日(土)～9月2日(日)

趣 旨 埼玉県立文書館と連携し、県内外に伝わる埼玉県関連の重要な中・近世の古文書を紹介。古文書を「よむ」だけではなく、色や形・様式を「みる」方法、そ

して内容を「しらべる」楽しさをわかりやすく伝えた。

展示資料総数 206点

開館日数 46日

会期中観覧者 5,485名

[関連事業]

- ・ジュニア博物館講座「和本をつくろう！」

期 日 7月29日(日)

参加者 23名

- ・歴史民俗講座「紙から知る、古文書」

期 日 8月4日(土)

講 師 関口真規子(文書館主任学芸員)

参加者 135名

- ・記念講演会「中世の古文書を楽しむー読めなくても大丈夫！」

期 日 8月18日(土)

講 師 小島道裕氏(国立歴史民俗博物館教授)

参加者 151名

- ・展示解説

期 日 7月14日(土)、8月12日(日)、19日(日)、9月2日(日)

会期中 全4回実施

4回計 209名

(3) 特別展「ダムと変わる！私たちの暮らし」

期 日 平成30年10月20日(土)～12月2日(日)

趣 旨 荒川・利根川の二大河川が流れる埼玉県には、秩父地域を中心に多くのダムが造られている。日本におけるダムの歴史を概観するとともに、合角ダム(秩父市・小鹿野町)を中心に、ダム建設に伴う人々の暮らしの変化などを紹介した。

展示資料総数 199点

開催日数 39日

会期中観覧者 6,341名

[関連事業]

- ・記念講演会「地図から消えたムラの暮らしー合角ダム水没地域調査からー」

期 日 11月23日(金・祝)

講 師 山本正実氏(小鹿野町教育委員会社会教育課行政専門員)

参加者 111名

- ・民俗工芸実演「スカリーすげの葉で編んだ編み袋の実演ー」

期 日 11月10日(土)

講 師 秩父スカリ愛好会

参加者 72名

- ・さいたま・バスめぐりツアー「秩父をぐるり・ダムめぐり」

期 日 11月18日(日)

参加者 42名

- ・展示解説

期 日 10月28日(日)、11月3日(土・祝)、14日(水・県民の日)、17日(土)、24日(土)、12月2日(日)

会期中 全6回実施

参加者 6回計 143名

(4) 企画展「埼玉の官衙ー律令時代の“お役所”ー」

期 日 平成31年1月2日(水)～2月17日(日)

趣 旨 律令国家は、地方支配のために各地に国や郡を設置した。各地に置かれた役所の遺跡を古代官衙と呼ぶ。官衙や関連遺跡の調査成果から、律令国家による地方支配の様子を紹介した。

展示資料総数 216点
開館日数 43日
会期中観覧者 5,657名

[関連事業]

・記念講演会

Ⅰ「埼玉の古代郡役所と律令国家」

期 日 1月13日(日)

講 師 佐藤 信氏(東京大学名誉教授)

参加者 162名

Ⅱ「北武蔵の郡役所一幡羅郡家と榛沢郡家」

期 日 1月20日(日)

講 師 知久裕昭氏(深谷市教育委員会)

参加者 141名

・歴史民俗講座「企画展『埼玉の官衙』から」

期 日 2月9日(土)

講 師 堀口 智彦(当館学芸員)

参加者 88名

・展示解説

期 日 1月12日(土)、19日(土)、2月2日(土)、9日(土)、16日(土)

会期中 全5回実施

参加者 5回計175名

・スタンプラリー

期 日 1月2日(水)～6月9日(日)

県立さきたま史跡の博物館のテーマ展「埼玉の平安」との連携

(5) 特別展「東国の地獄極楽」

期 日 平成31年3月16日(土)～令和元年5月6日(月・休)

趣 旨 地獄と極楽の観念は、仏教の死後の世界観として古来人々の関心を集めてきた。本展では、中世以降の東国における浄土信仰の広がりについて、埼玉県に関わる美術品や歴史資料を中心に紹介した。

展示資料総数 96点

開館日数 47日

会期中観覧者 9,982名

[関連事業]

・落語会「じごく・ごくらく・らくご会」

期 日 3月24日(日)

出 演 桂 文治氏(落語家)

参加者 120名

・記念講演会「死者のゆくえ―往生の思想と美術―」(平成31年度)

期 日 4月13日(土)

講 師 吉村 稔子氏(神田外語大学教授)

参加者 161名

・歴史民俗講座「冥途のみやげ―地獄めぐりの美術―」(平成31年度)

期 日 4月27日(土)

講 師 西川 真理子(当館学芸員)

参加者 156名

・展示解説

期 日 3月17日(日)、24日(日)、30日(土)、4月6日(土)、20日(土)、
27日(土)、29日(月・祝)、5月6日(月・祝)

会期中 全8回実施

参加者 560名

5 生涯学習支援事業

来館者とのコミュニケーションを大切にしながら、その時々によさわしい豊かで多様なプログラムを実施した。また、博物館活動を広く県民に知らせることにより利用の促進を図る活動、関係諸団体との連携を図る活動を行った。

(1) 講座・講習会等の開催

① 歴史民俗講座

・「農具百珍」

期 日 4月28日(土)

講 師 戸邊 優美(当館学芸員)

参加者 63名

・「埼玉の考古資料と年代学」

期 日 6月30日(土)

講 師 杉崎 茂樹(当館主任専門員兼学芸員)

参加者 60名

・「紙から知る、古文書」

期 日 8月4日(土)

講 師 関口真規子氏(埼玉県立文書館主任学芸員)

参加者 135名

・「文明開化の先駆者 清水卯三郎」

期 日 10月27日(土)

講 師 木村 遼之氏(埼玉県立文書館学芸員)

参加者 33名

・「形象埴輪からみる古墳時代のマツリ」

期 日 12月15日(土)

講 師 関 義則(当館館長)

参加者 102名

・「企画展『埼玉の官衙』から」

期 日 2月9日(土)

講 師 堀口 智彦(当館学芸員)

参加者 88名

② 民俗芸能講習会「秩父屋台囃子」

期 日 7月7日(土)、14日(土)、21日(土)、28日(土)、8月5日(日)の全5回

受講者 5日間延べ 136名

見学者 5日間延べ 111名

③ 民俗工芸実演

・とうろう絵—祭りを彩るとうろう絵と提灯

期 日 8月25日(土)

講 師 土屋一男氏(提灯)、土屋澄子氏(とうろう絵)

参加者 50名

・スカリーすげの葉で編んだ編み袋の実演

期 日 11月10日(土)

講 師 秩父スカリ愛好会

参加者 72名

④ ジュニア博物館講座「和本をつくろう！」

期 日 7月29日(日)

参加者 23名

⑤ 第8回学芸員合同研究発表会ミュージアムフォーラム2019 テーマ「木」での発表

期 日 1月19日(土)

講 師 中村 陽平(当館学芸員)「戸田の渡しから戸田橋へ」

池田 伸子(当館主任学芸員)「情景表現における木の役割～松を中心に～」

参加者 102名

(2) 実習・研修等の受入

① 博物館学芸員実習

6月21日(木)～22日(金)、26日(火)～29日(金)、及び8月中の1日の全7日間
武蔵大学など25大学から43名

② 博物館見学実習

埼玉大学など6大学132名

③ 中学生職場体験

さいたま市立田島中学校など6校27名 延べ17日間

④ 高校生インターンシップ

8月29日(水)～ 30日(木)の2日間 星槎学園高等部 大宮校 3名

11月27日(火)～ 29日(木)の3日間 日々輝学園高等学校 4名

1月29日(火)～ 2月 1日(金)の4日間 県立大宮商業高等学校 5名

⑤ 大学生インターンシップ

9月5日(水)～ 9月 7日(金)の3日間 立教大学など4校 4名

⑥ 教員向け研修の受け入れ(教育利用セミナー)

・越谷市小中学校教員初任者研修

期 日 5月9日(水)、15日(火)、25日(金) 参加者 64名

・教育利用セミナー

期 日 8月7日(火)、8日(水) 参加者 5名

・教育利用セミナー(団体)

期 日 7月31日(火) 参加者 6名

⑦ その他研修の受け入れ

・高校教員5年次経験者社会貢献活動研修

期 日 8月21日(火)、22日(水) 参加者 1名

・総合教育センター教員研修(専門研修)

タブレットPCを使った授業づくり研修会

期 日 8月17日(金) 参加者 8名

・埼玉県小学校教員初任者研修

期 日 9月14日(金)、25日(火)、28日(金)、10月2日(火) 参加者 74名

・埼玉県中学校教員初任者研修

期 日 9月20日(木)、9月27日(木) 参加者 42名

(3) 学校団体の受け入れ

① 学校連携(来館対応)

小学校80校、中学校12校(特別支援学級のみ6を含む)、高校3校、特別支援学校9校、
幼稚園2園、その他学校関係(教育相談室等)2団体 計108校

② 学校連携(出前授業)

越谷市立弥栄小学校など 36件 参加者 3,241名

(4) デリバリー事業等

① 県政出前講座 2件

羽生市立博物館 5月17日(木) 参加者 11名

さいたま市シニア大学 2月14日(木) 参加者 42名

② 講座・講演講師派遣

いきがい大学川越学園など 20件 参加者 2,759名

(5) ボランティアの受け入れ

① ボランティア活動、養成講座

ア ボランティア活動

・体験ボランティア 56名登録

まが玉づくり・絞り藍染めハンカチ・組紐ストラップ・着装体験及び学校団体などの体験学習指導補助、スキルアップ研修等

延べ活動日数 315日 延べ活動人数 1,528名

・展示解説ボランティア 73名登録

常設展の展示解説を開館期間中毎日実施したほか、「古代から教室へのメッセージ」学習キット（土器貸出キット）を活用し、展示室入り口で土器・石器類ハンズ・オン解説も実施した。

延べ活動日数 315日 延べ活動人数 1,544名

イ ボランティア研修

博物館ボランティア応募者を対象とした、ボランティア養成のための専門的講座、及び実践的な研修を実施した。

・体験ボランティア 延べ開催日数 8日 延べ参加人数 96名

・展示解説ボランティア 延べ開催日数 8日 延べ参加人数 63名

6 ゆめ・体験ひろばの運営

それぞれ特色のある機能と設備を持つ3つのエリアで、地域の文化資源を活用した博物館ならではの多様な体験プログラムを、子どもから高齢者、初心者からリピーターまでさまざまな参加者を対象に実施した。

(1)「ものづくり工房」通年メニュー

- | | |
|--------------|--------|
| ① 藍染めハンカチ | 2,856名 |
| ② 江戸組紐ストラップ | 1,004名 |
| ③ 絵馬 | 408名 |
| ④ 歴史百景／歴史ぬりえ | 64名 |
| ⑤ 絵巻物 | 446名 |
| ⑥ まが玉 | 2,779名 |
| ⑦ 浮世絵スリスリマシン | 444名 |
| ⑧ 季節のミニアート | 1,043名 |
| ⑨ 編布コースター | 87名 |
| ⑩ コバトンペーゴマ | 137名 |

合計 9,268名

(2)「ものづくり工房」特別体験メニュー

- | | | |
|----------------|-----------------|---------|
| ① 藍の型染めハンカチ | | |
| 期 日 | 5月16日(水) | 参加者 17名 |
| ② 藍の絞り染めストール作り | | |
| 期 日 | 6月28日(木) | 参加者 19名 |
| 期 日 | 29日(金) | 参加者 20名 |
| ③ 江戸組紐ネックレス作り | | |
| 期 日 | 10月12日(金) | 参加者 20名 |
| ④ 木版浮世絵 | | |
| 期 日 | 12月13日(木) | 参加者 7名 |
| 期 日 | 1月24日(木) | 参加者 5名 |
| ⑤ ミニ銅鏡作り | | |
| 期 日 | 1月12日(土) | 参加者 18名 |
| ⑥ 江戸組紐帯締め作り | | |
| 期 日 | 2月15日(金)・22日(金) | 参加者 19名 |
| ⑦ 型付け藍染め | | |
| 期 日 | 3月 3日(日) | 参加者 12名 |

(3)「昭和の原っぱ」イベント

① 博物館子供まつり

兜をかぶろう

期 日 4月24日(火)～5月6日(日) 参加者 533名

射的あそび

期 日 5月 5日(土・祝) 参加者 232名

② 博物館春まつり

ボン菓子作り

期 日 3月16日(土) 参加者 256名

(4) その他の特別体験事業

① 十二単・小桂の着装体験

期 日 4月14日(土) 参加者 14名

期 日 10月27日(土) 参加者 14名

期 日 1月19日(土) 参加者 14名

② 十二単・小桂と男子装束の着装体験

期 日 5月19日(土) 参加者 13名

期 日 12月 8日(土) 参加者 14名

期 日 3月 2日(土) 参加者 14名

③ 甲冑の着装体験

期 日 6月 9日(土) 参加者 17名

期 日 2月16日(土) 参加者 15名

④ お雛子体験教室

期 日 6月23日(土) 参加者 30名

期 日 11月10日(土) 参加者 24名

⑤ 夏休み!大昔のくらし体験パック

期 日 8月 1日(水) 参加者 8名

期 日 8月 2日(木) 参加者 8名

⑥ 火起し体験教室

期 日 11月24日(土) 参加者 22名

期 日 3月 9日(土) 参加者 21名

⑦ ベーゴマ教室

期 日 10月20日(土) 参加者 24名

7 その他の主催事業

(1) 弥生時代復元住居見学会

期 日 5月5日(土・祝)、11月14日(水・県民の日)

参加者 計 212名

(2) 正月臨時開館関連事業

①「昭和のお正月」福笑い

期 日 1月2日(水)

参加者 24名

②「昭和のお正月」投扇興

期 日 1月3日(木)

参加者 43名

③「昭和のお正月」かるた遊び

期 日 1月2日(水)～3日(木)

参加者 38名

④ 正月イベント「クイズラリー」(常設展)

期 日 1月2日(水)～3日(木)

参加者 64名

- (3) ミュージアム・カレッジ 2018「書と碑—漢字文化圏再考・再興にむけて—」

期 日 11月30日(金)、12月7日(金)、14日(金)、21日(金)

参加者 360名

- (4) 博物館裏方探検隊

原則、毎週土曜日に博物館のバックヤードを紹介した。(延べ58回 参加者472名)

8 関係団体・機関との連携等

- (1) 埼玉県博物館連絡協議会(会長)・運営等(事務局)

① 総会・研究会・講演会・見学会・県外研修会・役員会等の開催

② 加盟館園マップ「Saitama Museum Guide Map」の作成(20,000部)

③ ホームページの管理・運営

- (2) 関東地区博物館協会の運営等(会長・事務局・埼玉県代表幹事館、日本博物館協会関東支部長)

① 総会・理事会・研究会等の開催

② 連携事業の実施(「加盟館園マップ2018」の作成 10,500部)

③ 日本博物館協会関東支部に係る連絡調整、照会・回答等の事務

- (3) 日本博物館協会(参与)

全国博物館大会等への参加

- (4) 「博物館友の会」との連携・共催事業の実施

① 講演会

・「土器から見た古墳時代の日韓交流」

期 日 4月15日(日)

講 師 酒井 清治氏(駒澤大学教授)

参加者 112名

・「古写真で見る幕末・明治維新」

期 日 5月27日(日)

講 師 井桜 直美氏(日本カメラ博物館・古写真研究員)

参加者 111名

・「鎌倉期武蔵の街道と人・モノ・文化」

期 日 7月15日(日)

講 師 高橋 一樹氏(武蔵大学人文学部教授)

参加者 138名

・「古代日本刀の超技術～古代鉄と日本刀～」

期 日 11月17日(土)

講 師 志村 史夫氏(静岡理科大学名誉教授)

参加者 99名

・「保存と修復から仏像を再考する」

期 日 2月23日(土)

講 師 牧野 隆夫氏(吉備文化財修復所代表)

参加者 128名

② プレミアム講座

・「みる・よむ・しらべる埼玉の古文書」

期 日 7月18日(水)

講 師 新井 浩文(当館学芸主幹)

参加者 75名

・「『新編武蔵風土記稿』について」

期 日 9月5日(水)

講 師 杉山 正司(当館主任専門員兼学芸員)

参加者 77名

- ・「太平記絵巻をめぐる博物館のあゆみ～収蔵・研究・展示・修理～」

期 日 11月7日(水)

講 師 池田 伸子(当館主任学芸員)

参加者 55名

- ・「見て、体験してみませんか?～学校出前事業にみる歴史体験学習～」

期 日 1月9日(水)

講 師 佐藤 昌幸(当館担当課長)

参加者 22名

- ・「地域に寄り添った旗本の話～旗本・水野氏と寄居 昌国寺～」

期 日 3月13日(水)

講 師 中村 陽平(当館学芸員)

参加者 71名

(5) 「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」魅力アップ地域活動事業の実施

平成23年度に近隣9施設で活動を開始した「ミュージアムヴィレッジ大宮公園」連絡協議会による連携事業として、下記の事業を実施した。

① スタンプラリーの実施

期 日 11月1日(木)～2月11日(月・祝)

参加者 375名(当館スタンプ押印数)

② ウォーキングツアーの開催

期 日 11月3日(土・祝)

参加者 25名

(6) 連携事業等

- ① 東日本旅客鉄道株式会社大宮支社と連携し、駅からハイキング「春を感じる 大宮のんびり散歩」の会場として実施。

期 日 3月19日(火)～3月31日(日)

- ② 埼玉県訪日教育旅行誘致・受入推進協議会への参加

(7) その他事業の共催

- ① 文化財講習会 共催団体：埼玉県教育委員会、埼玉県文化財保護協会

期 日 7月26日(木)～27日(金)

参加者 216名

- ② 文化財レスキュー・防災研修会

共催団体：埼玉県文化財保護協会、埼玉県地域史料保存活用連絡協議会

期 日 2月13日(水)

参加者 82名

9 広聴広報

(1) 広聴

- ① 特別展・企画展等のアンケートの実施
- ② 博物館利用者アンケートの実施
利用者アンケートの結果をフィードバック

(2) 広報

- ① 当館刊行物、県刊行物による広報のほか、新聞・雑誌・テレビ・ラジオ等による広報を積極的に行うとともに、インターネット・SNSによる情報発信を行った。
- ② 「大盆栽まつり」、「大宮区民ふれあいフェア」、「北区民まつり」に出展し、広報を行った。
 - ・大盆栽まつり 5月 3日(木・祝)～5日(土・祝)
 - ・大宮区民ふれあいフェア 10月27日(土)
 - ・北区民まつり 11月 4日(日)

(3) レファレンスサービス(251件)

博物館の利用に関する相談、埼玉の歴史・考古・民俗・美術に関する学習相談、情報提供、

特別展・企画展・常設展の内容等照会、体験学習の指導・助言等の実施。

10 平成30年度印刷刊行物一覧

(1) 『紀要』第13号	600部
(2) 展示図録等	
特別展「ダムと変わる！私たちの暮らし」図録	1,600部
特別展「東国の地獄極楽」図録	1,600部
博物館ブックレット第4集 企画展「埼玉の官衙」	1,000部
(3) 平成31年度イベントガイド	45,000部
(4) 平成30年度博物館要覧	550部
(5) 博物館だより web 版 (第37～39号)	
(6) 「見学のしおり」(英語版)	7,000部
(7) 学校と博物館の連携・利用案内(平成31年度版)	9,000部
(8) 無形民俗文化財調査事業 巡り・廻りの民俗行事調査概報Ⅲ	500部
(9) 無形民俗文化財調査事業 巡り・廻りの民俗行事 DVD	200枚

11 環境整備と施設設備の保全事業

大宮公園の風致と調和した環境の保全及び施設設備の維持管理を図り、広く県民の利用及び資料の保全に万全を期した。

また、Wi-Fi 設置工事を行い館内の快適な利用環境の整備・促進を図った。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| (1) 防災訓練(消防、地震) | 7月19日(木)、3月5日(火) |
| (2) 自家用電気工作物電気保安検査 | 10月22日(月) |
| (3) 施設設備の保守業務委託、小破修繕の実施 | |
| (4) Wi-Fi 運用開始 | 2月14日(木) |

平成 30 年 度 利 用 者 数

	開館 日数	利用者 合計 (A+B)	入館者数(A)								館外 活動 (B)	(C)の参考		(D)の参考	
			合計 (C+D)	展示室観覧者(C)				入場者数 (D)	特別展・ 企画展 観覧者	講座等 参加者		ゆめ体験 参加者			
				合計 (E+F)	有料(E)		無料(F)								
					小計	観覧料 円							小計		
4月	27	11,938	11,770	2,734	1,616	490,000	1,118	9,036	168	549	2,185	613	2,766		
5月	27	12,947	9,805	2,373	1,410	434,200	963	7,432	3,142	1,512	861	965	2,598		
6月	20	5,826	5,616	1,507	904	234,550	603	4,109	210	1,507	-	218	1,549		
7月	27	8,230	8,021	2,892	1,468	412,450	1,424	5,129	209	1,112	1,780	786	1,891		
8月	28	10,470	10,206	3,919	2,280	745,900	1,639	6,287	264	607	3,312	559	2,948		
9月	27	8,153	7,653	2,481	1,341	351,450	1,140	5,172	500	2,088	393	353	2,174		
10月	27	13,756	12,585	4,505	1,408	466,700	3,097	8,080	1,171	2,810	1,695	180	4,343		
11月	27	14,475	13,252	4,946	1,526	623,850	3,420	8,306	1,223	679	4,267	919	4,178		
12月	25	7,678	6,686	1,934	1,113	323,650	821	4,752	992	1,555	379	447	1,836		
1月	27	10,350	9,524	3,700	2,140	682,400	1,560	5,824	826	353	3,347	830	2,717		
2月	25	11,196	10,140	4,569	2,988	915,550	1,581	5,571	1,056	2,259	2,310	1,093	1,901		
3月	28	14,231	13,845	4,191	3,175	1,261,300	1,016	9,654	386	1,741	2,450	929	3,135		
年度計	315	129,250	119,103	39,751	21,369	6,942,000	18,382	79,352	10,147	16,772	22,979	7,892	32,036		

※1 館外活動(B)の主な内容：出館授業や展覧会参加者、ゆめ体験参加者
 ※2 入場者数(D)の主な内容：無料スペースを別れた数、ゆめ体験参加者、講座等参加者

展示概要等

■屋外展示

館庭は縄文時代と弥生時代の遺跡で、一部が県指定史跡となっている。発掘調査の成果をもとに弥生時代の竪穴住居を復元しており、その背後にある方形周溝墓は弥生時代後期の有力者の墓である。

■常設展示—埼玉における人々の暮らしと文化—

常設展示のメインテーマは「埼玉における人々の暮らしと文化」である。歴史を常に庶民の立場から見ていくという思想で貫き、庶民の力強さをダイナミックに表現することを基本姿勢としている。また、「見せる博物館」から「見る博物館」へ、「教える博物館」から「自ら学ぶ博物館」へをキャッチフレーズに、資料や研究データを通して観覧者と博物館が共に考えていこうという展示構成となっている。

プロローグ 大地に読む歴史

エントランスロビーの天井に届くようにそびえるのは、さいたま市大宮区の寿能泥炭層遺跡で確認された土層の模式断面である。各時代の遺物が出土状況に合わせてはめこまれ、各層の年代と各展示室で展開される展示内容とが対比できる歴史年表となっている。各展示室の入口には、この土層の断面をデザイン化した色別のパネルがあり、観覧の時間軸として利用できるようになっている。

第1展示室 旧石器～弥生時代

常設展示のはじまりは、埼玉の地にいつから人類が住み始めたかを考えるコーナーである。武蔵野台地や大宮台地を中心とした遺跡や出土遺物から旧石器文化を紹介する。内陸深く入りこんだ「奥東京湾」の周辺から出土した土器・漆器・木製品などから縄文人の暮らしを表現している。大陸から伝えられた稲作や新たな技術はやがて東国にも達する。コメづくりのムラが営まれ、ムラとムラをたばねる首長が成長していく弥生時代を、東日本の出土遺物の比較や方形周溝墓などから表現している。

第2展示室 古墳時代

古墳時代における畿内文化の伝播や大和政権を中心とする国づくりの様子、豪族・農民の生活を紹介する。埼玉（さきたま）古墳群の稲荷山古墳から出土した辛亥（しんがい）銘鉄剣（国宝）に刻まれた文字は、国づくりの過程で北武蔵地方の豪族が大王を補佐する役割を果たしたことを物語っている。当時の武器・武具・馬具や埴輪などを通して、大和政権による国づくりに果たした東国の“杖刀人（じょうとうじん）”＝武人の役割に焦点をあてた。また、鉄製の農具や工具など新技術を摂取して開発を進めていった人々の生活を取り上げている。

第3展示室 奈良～南北朝時代

「武蔵武士」を基本テーマとする。ここではまず、発掘資料を用いて、律令制下における支配や人々の暮らしに関する展示を行う。平安時代に地方支配が動揺すると、各地で武装した領主層が台頭し始める。こうしたなか、県域では武蔵武士が登場する。その台頭過程や活躍ぶり、信仰や日常生活の様子などについて、工芸品・絵巻物・古文書・発掘資料などを使って紹介する。

第4展示室 美術展示室

埼玉県の歴史の流れ（通史）の中では紹介しきれない優れた美術工芸品を、「博物館の中の小さな美術館」である本室で集中的に紹介する。様々な作品を通して美の世界の広がり提示する。

第5展示室 室町～戦国時代

室町・戦国時代の北武蔵では、室町幕府と鎌倉府、戦国大名などの間で戦乱が繰り返された。ここでは、こうした「乱世」を生きた人々の姿をクローズアップする。歴史を彩る武將を輩出した古河公方足利氏・太田氏・後北条氏という3家について、工芸品・古文書などを用いて紹介するとともに、この時代の戦争を特徴づけた「足軽」と呼ばれる雑兵についても展示を行う。あわせて、中世における人々の暮らしと文化を取り上げる特集コーナーを設け、展示内容の充実を図っている。

第6展示室（展示ホール） 板碑

鎌倉から戦国時代末期にかけて盛んにつくられた板碑には、長い戦乱の中で暮らした人々の多くの願いが込められている。荒川上流で産出する緑泥片岩を用いた武蔵の板碑は質量ともに全国一を誇り、武蔵武士の名が刻まれているものも少なくない。ここでは、それらの中から我が国最大・最小のもの、最古のものをはじめ、県内の代表的な板碑を紹介している。また、ときがわ町の慈光寺の開山塔は、室町時代初期の建築様式を伝える我が国現存最古の木造宝塔といわれており、その復原資料を展示している。

第7展示室 江戸時代Ⅰ

江戸幕府のお膝元となった埼玉における支配の特色を、大名・旗本などの領主とその農民支配の在り方、交通・宗教・文化などの制度を通して紹介する。領主については、川越・忍（行田）・岩槻・岡部に配置された大名と旗本に関する資料や城の模型を中心に展示している。農民の支配については、年貢制度や、日常生活の規制などを高札や古文書により表現している。また、中山道や日光道中、利根川に設けられた関所の様子、幕府の寺院統制やキリシタン禁制、学芸、科学、民間信仰などを取り上げている。

第8展示室 江戸時代Ⅱ

江戸時代の埼玉は、河川改修や用水路等の整備などにより、耕作地が増えて米の収穫量は増大した。そして、河川交通の発達とともに、各地で地場産業が盛んとなり、商品作物も作られるようになった。こうした様子は見沼代用水構造物や高瀬船模型・藍玉・紅餅・茶壺・運賃定書などを通して紹介している。また、幕藩体制が大きくゆらぎはじめる幕末の様子は、武州一揆や安政の大地震と水害・黒船来航などの資料によって紹介している。

第9展示室 明治時代～現代

明治期の埼玉は、政府の富国強兵の方針のもとでの殖産興業政策により、地場産業の近代化と産業基盤の整備を推進した。大正・昭和戦前期になると、大衆運動が盛り上がりを見せたが、昭和恐慌を契機にやがて長い戦争へと突入していき、県民・県土は疲弊した。敗戦後の埼玉は、産業・経済の復興をなしとげ、内陸型の工業県として目覚ましく発展した。ここでは、近代埼玉の歩みを行政・産業・経済を中心に紹介するとともに、昭和30年代の暮らし、地場産業や郷土の発展に貢献した埼玉の人物をより詳細に取り上げている。

第10展示室 民俗展示室

民俗展示室は平成29年2月に全面的な展示替えを行い、「水と暮らし」というテーマで埼玉県における「水にまつわる民俗」を紹介している。展示は、「漁の知恵」「水と技の出会い」「水の力」「水と日々の暮らし」の4部構成で、川や湖沼での漁業をはじめ、水に関する産業や行事、祭りに関する資料などを紹介している。また、ミニテーマを設けて展示替えを行うコラム展示や、往時の農家の雰囲気再現した「農家のいろり」コーナーもある。

■特別展示室

企画テーマに沿った特別展などを開催する展示室である。年数回の特別展・企画展を開催し、毎回好評を博している。企画の内容は、より広い視点から埼玉の歴史と文化を比較・理解できるよう、県内だけではなく、関東あるいは全国に対象を広げてテーマを設定している。

■季節展示室

この展示室は、常設展示室と特別展示室を結ぶ場所に位置している。京壁と野外の竹林・石灯籠とが調和して安らぎの場となっている。また、小さな特集展示や特別展のサブ展示室としても活用される。

■ゆめ・体験ひろば

「ゆめ・体験ひろば」は、世代間交流ができる体験学習施設で、それぞれに特色ある機能と設備を持つ3つのエリアで構成されており、地域の文化資源を活用した博物館ならではの多様なプログラムを提供している。

第1エリア 自由自在座

入館者が多様なハンズオン展示装置を自由に選択し、自在に楽しむ体験展示として、浮世絵版画の工程を体験する「浮世絵スリスリマシン」、歌舞伎などで用いられる擬音楽器を使って楽しむ「日本の音で遊ぼう」、江戸時代の提灯や行灯をのぞき窓から覗く「灯りの今昔」、ヒモを引いて目や口を動かし複雑な仕掛けを理解する「人形芝居」、石臼で米などを挽いて粉にする体験ができる「石臼を使ってみよう」などを設置している。

また、「昔のくらしと道具」のブースは、昭和30年代の農村の住居・町の住居の食卓や道具などの展示を見ながら、昔の生活道具を学べるコーナーとなっている。

さらに、「学び文庫」として調べ学習のための参考図書をゆったり閲覧することができる。

第2エリア ものづくり工房

「ものづくり工房」では、郷土に伝わる伝統文化のわざとこころを、体験を通して学ぶことができ、藍染めや江戸組紐といった伝統工芸や地場産業をテーマとしたものづくりメニューを、常時数種類体験することができる。通常体験メニューとは別に、藍染めストールや江戸組紐帯締めなど、成人対象の本格的な特別体験メニューも提供している。

第3エリア 昭和の原っぱ

屋外広場に、木製電柱や土管、ホーロー看板やスバル360などのディスプレイにより、昭和30～40年代のロケーションを再現したエリアが「昭和の原っぱ」である。

ここでは、ベーゴマやメンコ、フラフープといった昔懐かしい遊び体験コーナーや駄菓子屋を常設するとともに、季節に応じて、「射的遊び」や「ポン菓子作り実演」などのノスタルジックイベントも開催する。

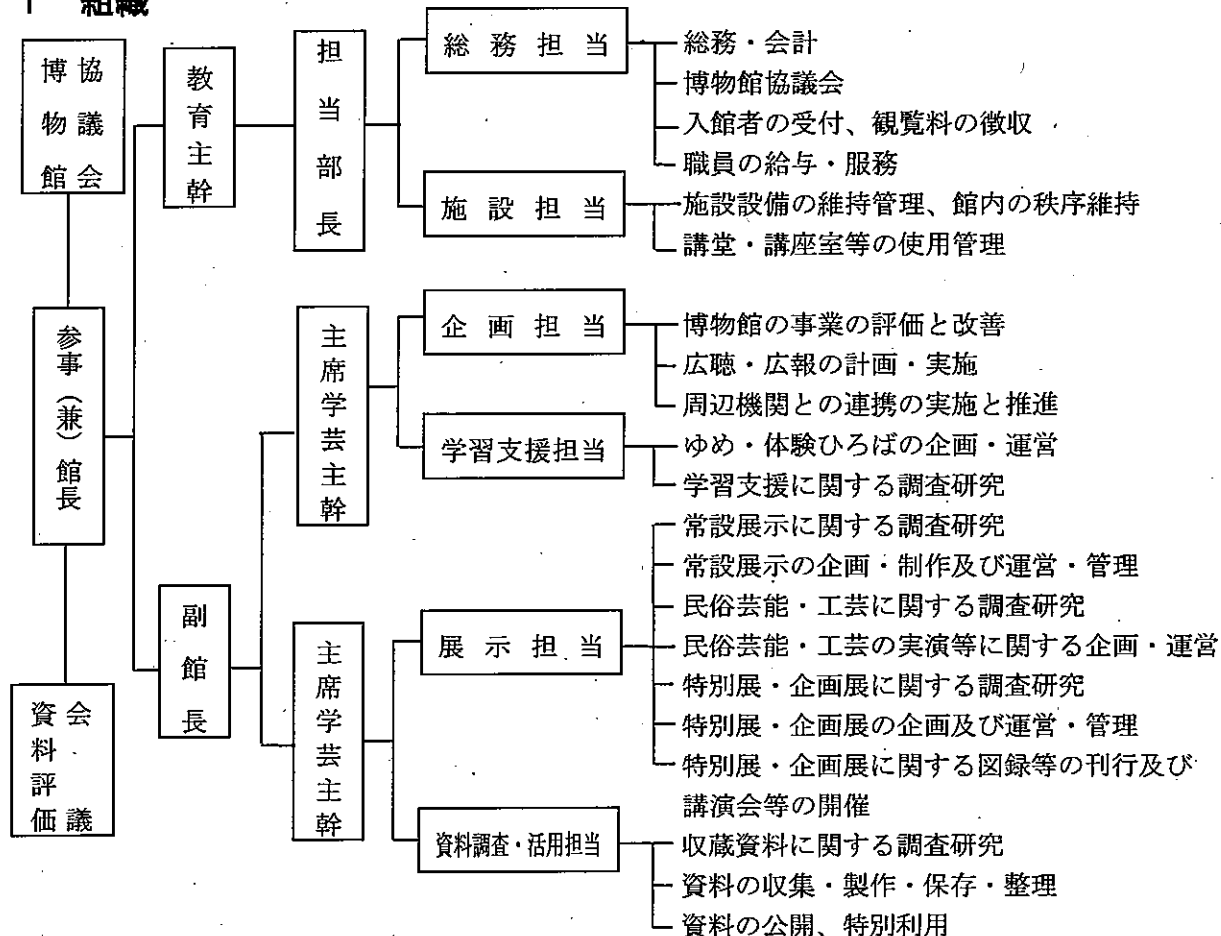
人それぞれに懐かしくもあり、新鮮でもある「昭和の原っぱ」は、かつてガキ大将で鳴らした団塊の世代の大人たちと、IT世代の現代っ子たちが、遊び文化の継承を通じて世代間交流ができる空間を提供している。

このように、特色ある3つのエリアから成る「ゆめ・体験ひろば」では、入館者はもとより、専門分野を担う博物館クルーや体験ボランティアなどが運営のサポートにあたることにより、「だれもが主役になれる博物館」づくりを進めている。

また、各施設は、ユニバーサルデザインに基づき、「誰にもやさしい博物館」として、安全に楽しく見学や体験ができるようになっている。

組織及び職員構成（平成31年4月1日現在）

1 組織



2 職員名簿

職 名 氏 名

参事(兼)館長 小 澤 健 史

◎総務、施設担当

教育主幹 代 島 常 造

担当部長 奥 木 敬 司

[総務担当]

主 任 川 尻 浩 之

主 事 上 野 翔 子

主 事 庄 子 亮 平

[施設担当]

主 任 内 藤 伸 一

主 任 大 野 樹

主任専門員 齊 藤 登 志 雄

◎企画、学習支援、展示、資料調査・活用担当

副 館 長 水 口 由 紀 子

○企画、学習支援担当

主席学芸主幹 岡 本 健 一

[企画担当]

学芸主幹 君 島 勝 秀

主幹(兼)主幹 利 根 川 章 彦

学 芸 員 濱 田 翠

職 名 氏 名

[学習支援担当]

主任学芸員 池 田 伸 子

担当課長 佐 藤 昌 幸

担当課長 國 分 隆 幸

主 事 二 階 堂 真 琳

学 芸 員 德 安 達 愛

○展示、資料調査・活用担当

主席学芸主幹 書 上 元 博

[展示担当]

学芸主幹 西 口 由 子

学芸員 根 ヶ 山 泰 史

学芸員 後 藤 知 美

学芸員 中 村 陽 平

学芸員 堀 村 智 彦

主幹(兼)主幹 杉 山 正 司

学芸員 西 川 真 理

学芸員 尾 崎 沙 羅

学芸員 町 田 步 未

学芸員 太 田 有 紀

[資料調査・活用担当]

学芸主幹 新 井 浩 文

主幹(兼)主幹 田 中 正 夫

学芸員 佐 藤 香 里

学芸員 戸 邊 優 美

3 埼玉県立歴史と民俗の博物館協議会委員名簿

任期 平成30年5月26日から令和2年5月25日まで

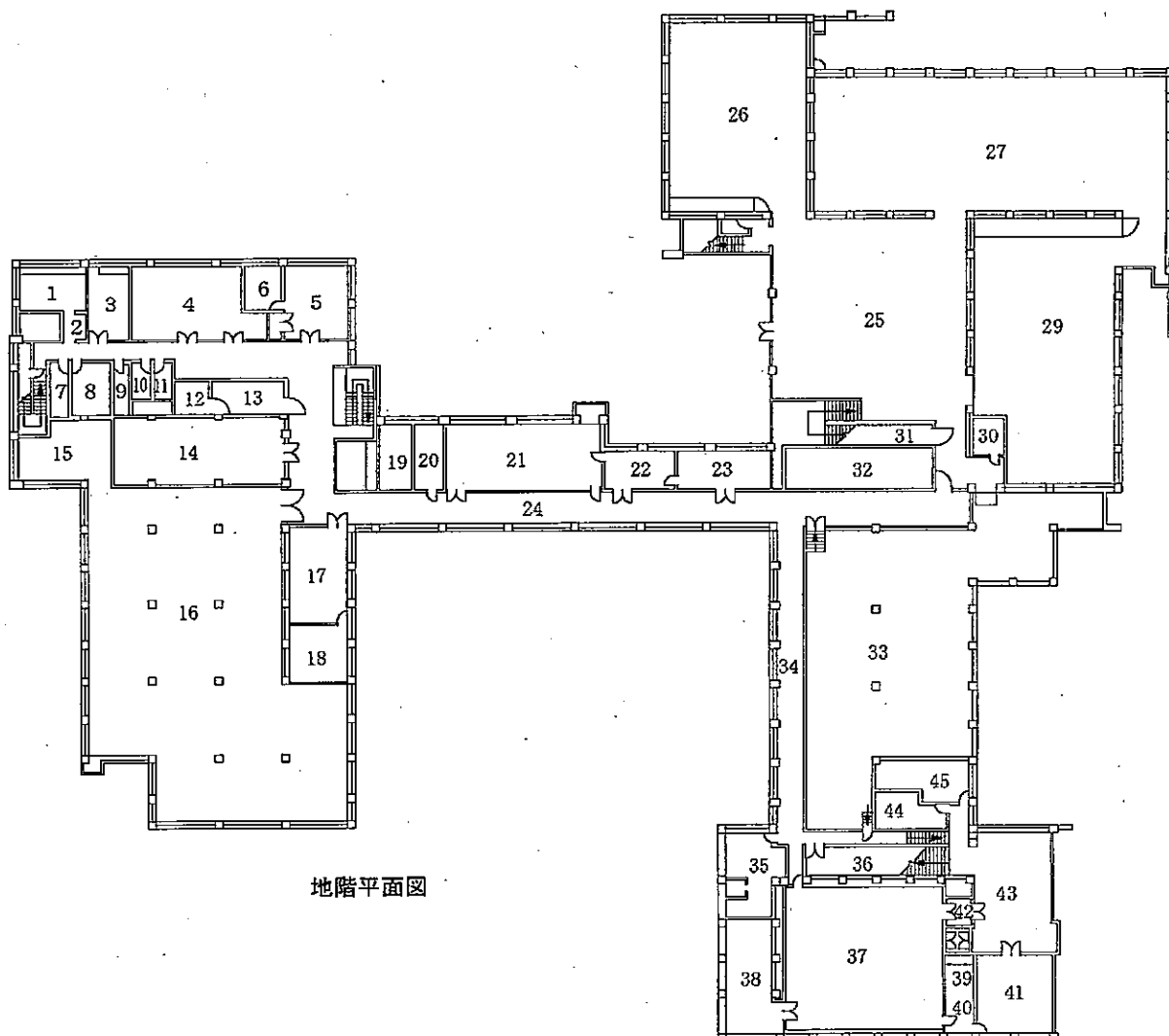
(選出区分別 敬称略 職名等は平成31年4月1日現在)

選出 区分	ふりがな 氏名	職名等
学校教育 関係者	くわばら ともこ 桑原 智子	県立特別支援学校大宮ろう学園校長
	さかい のぶよし 坂井 修義	県立草加高等学校長
	ときやま くみこ 時山 久美子	鳩山町立今宿小学校長
社会教育 関係者	あおやぎ くにただ 青柳 邦忠	聖徳大学嘱託 元国立科学博物館附属自然教育園長
	きむら よしこ 木村 好子	埼玉県地域婦人会連合会書記
家庭教育 関係者	さとう よしえ 佐藤 淑恵	埼玉県家庭教育振興協議会幹事
	たぐま ようこ 田熊 陽子	さいたま市立大砂土小学校 学校地域連携コーディネーター
学 識 経 験 者	あさくら なおみ 浅倉 直美	埼玉県文化財保護審議会委員 清瀬市史編さん委員会委員
	あさくら はるみ 朝倉 はるみ	淑徳大学経営学部教授
	くらかみ のぶお 倉上 伸夫	さいたま市大宮区高鼻町1丁目自治会長
	さの ちえ 佐野 千絵	(独) 国立文化財機構東京文化財研究所 保存科学研究センター長
	しまの もりお 島野 守夫	テレビ埼玉報道制作局次長
	しみず りょう 清水 亮	埼玉大学教育学部准教授
	ねぎし しげお 根岸 茂夫	國學院大學文学部教授 埼玉県文化財保護審議会委員
	いの あやこ 井野 綾子	会社員
	たかの しんたろう 高野 慎太郎	私立学校教諭

施設設備

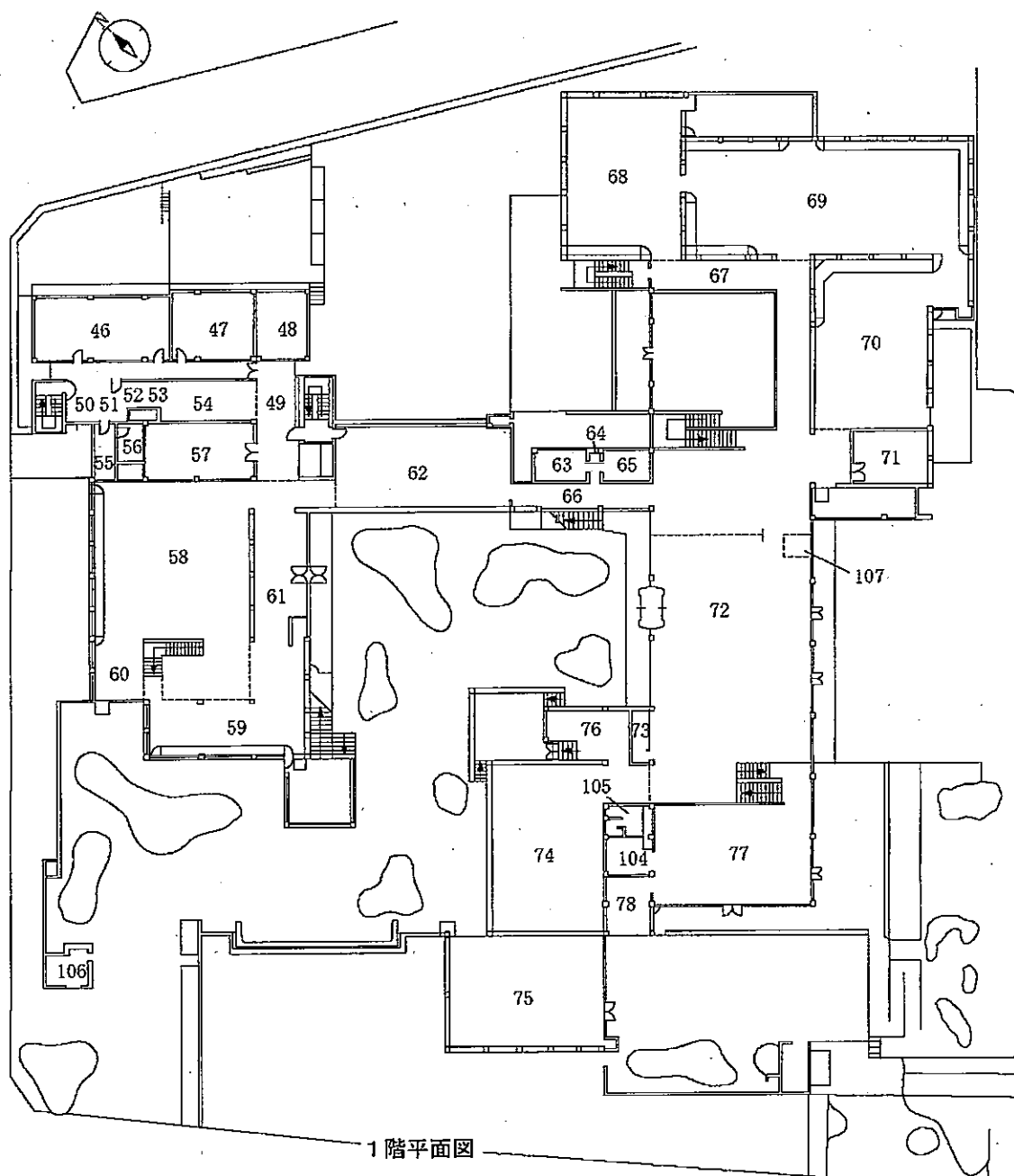
■敷地面積 12,753.71㎡ 延床面積 11,363.93㎡

各室配置図及び各室面積表

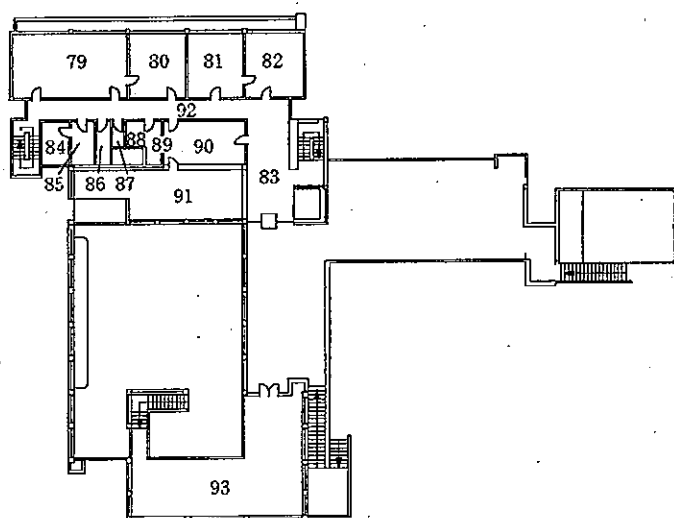


地階平面図

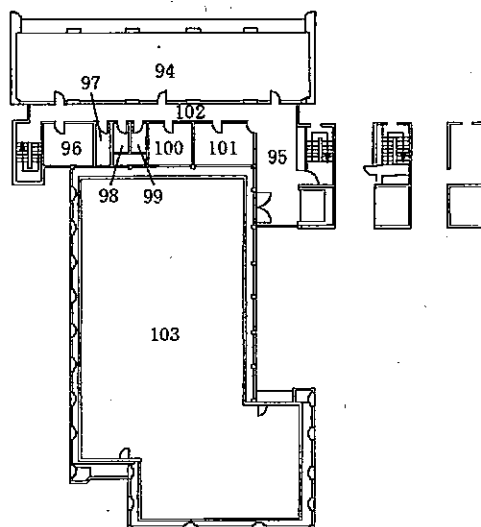
番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡
1	休養室	35.84	16	収蔵庫 2	604.80	32	倉庫 1	47.52
2	湯沸室	7.50	17	図書室 2	52.80	33	空調機械室 1	431.44
3	ボランティアルーム	30.24	18	炭酸ガスボンベ室	33.60	34	廊下	94.32
4	資料保存室	79.20	19	消火水槽	21.60	35	旧食堂事務室	43.92
5	スタジオ	40.32	20	消火ポンプ室	14.40	36	旧食堂倉庫	58.32
6	暗室	17.28	21	変電室	86.40	37	講堂	227.52
7	浴室	9.00	22	中央監視室	23.76	38	講堂準備室	51.84
8	控室	11.70	23	発電機室	32.40	39	音響調整室	10.56
9	男子便所	9.00	24	廊下	373.72	40	湯沸室	18.48
10	女子便所	6.12	25	常設展示室 6	367.74	41	講座室	60.48
11	掃除用具室	6.12	26	常設展示室 7	237.60	42	講堂前室	13.20
12	殺虫消毒室 1	10.26	27	常設展示室 8、9	450.72	43	講堂前ロビー	94.56
13	殺虫消毒室 2	28.50	29	常設展示室 10	320.64	44	男子便所	20.12
14	空調機械室 2	94.80	30	常設展示準備室 2	6.00	45	女子便所	28.60
15	収蔵庫 3	46.50	31	常設展示準備室 3	16.50			



番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡
46	管理事務室	108.00	59	特別展示室1	237.60	71	常設展示準備室1	54.06
47	車庫	64.60	60	休憩室	43.20	72	エントランスロビー	712.80
48	荷扱室	43.20	61	特別展示室エントランス	116.64	73	コインロッカー室	14.40
49	荷解広間	63.36	62	季節展示室	195.84	74	自由自在座	207.36
50	管理棟エントランス	26.88	63	客用男子便所	14.40	75	ものづくり工房	237.60
51	男子便所	9.00	64	みんなのトイレ	7.02	76	ゆめ・体験ひろば準備室	54.48
52	女子便所	6.12	65	客用女子便所	17.18	77	休憩コーナー	207.60
53	湯沸室	3.42	66	廊下	52.48	78	幼児コーナー	37.08
54	荷解梱包室	53.55	67	ギャラリー	144.96	104	自動販売機コーナー	18.47
55	警備員室	16.80	68	常設展示室4、5	237.60	105	倉庫2	8.82
56	救護室	13.20	69	常設展示室2、3	427.68	106	旧正門警備員室	17.55
57	特別展示準備室	72.00	70	常設展示室1	273.18	107	インフォメーション	—
58	特別展示室2	324.00						



2階平面図



3階平面図

番号	室名	面積㎡	番号	室名	面積㎡	延床面積	11,363.93 ㎡
79	会議室	86.40	92	廊下	66.24	内訳	
80	資料熟覧室	43.20	93	特別展示室3	151.20	・展示部門	4,984.38 ㎡
81	応接室	43.20	94	学芸事務室	226.80	展示室	(3,711.96 ㎡)
82	館長室	43.20	95	ロビー	51.84	その他	(1,272.42 ㎡)
83	ロビー	51.84	96	副館長室	26.88	・収蔵部門	1,416.90 ㎡
84	電話交換機室	16.53	97	男子便所	9.00	・管理部門	4,962.65 ㎡
85	男子更衣室	10.56	98	女子便所	6.12	その他	
86	男子便所	9.00	99	湯沸室	3.42	建築面積	4,529.57 ㎡
87	女子便所	6.12	100	調査研究室2	21.12	内訳	
88	湯沸室	3.42	101	調査研究室1	26.88	・本館	4,512.02 ㎡
89	女子更衣室	10.32	102	廊下	66.24	・旧正門警備員室	17.55 ㎡
90	図書室	38.40	103	収蔵庫1	712.80		
91	書庫	94.20					

資 料

1 年度別当初予算一覧

単位：千円

年 度	管理運営費	展示事業費	博物館 資料収集 管理費	ゆめ・体験 ひろば 事業費	常設展示室 展示設備 更新事業費	計
平成21	23,319	26,627	6,200	4,292	—	60,438
22	22,633	27,941	5,830	4,135	—	60,539
23	23,194	36,829	5,436	4,456	—	69,915
24	24,395	33,326	8,646	4,268	—	70,635
25	20,647	41,305	6,233	3,991	—	72,176
26	22,855	39,144	6,327	4,032	—	72,358
27	19,891	50,201	5,881	4,127	—	80,100
28	23,303	37,956	5,886	4,215	—	71,360
29	21,193	43,568	5,888	4,281	—	74,930
30	21,055	37,191	5,752	4,331	5,500	73,829
31 令和元	25,072	38,914	5,949	4,461	5,552	79,948

2 入館者数の推移

年 度	開館日数	利用人員	1日平均 利用者数	備 考
平成21	184 日	90,477 人	492	9月14日～2月15日工事休館
22	208 日	93,138 人	448	11月15日～3月16日休館
23	305 日	133,160 人	437	
24	310 日	126,886 人	409	
25	311 日	119,953 人	386	平成25年7月1日から高齢者の観覧料減免措置廃止
26	310 日	135,221 人	436	
27	308 日	146,203 人	475	
28	310 日	138,209 人	446	
29	309 日	142,566 人	461	
30	315 日	119,103 人	378	

3 所蔵資料数(平成31年3月31日現在) 125,995点(+954点)

絵画	(+1点) 1,494点	工芸	(+4点) 1,263点	彫刻	35点	書跡	(+1点) 173点
歴史	(+322点) 48,508点	民俗	(+624点) 68,466点	考古	6,024点	模型	(+2点) 32点

4 特別展・企画展一覧

年度	春	夏	秋	冬
昭和 46			埼玉百年史	
47		縄文の美となぞ	アイヌ文化展	関東の鉄仏
48		寺内萬次郎展	台湾の民具	昔の旅
49		足輕胴と陣笠	東北の美術	小村雪岱展
50	原始の世界	埼玉景勝30選展	斉藤与里展	
51	永田二郎展	埼玉の張り子展	さいたまの肖像展	近代埼玉の書
52	中野四郎作品展		戦国武将展	はにわ展
53	埼玉のやきもの	近世埼玉の文人展	奥原晴湖展	
54	弁当箱にみる用と美		絵馬展	胎内納入品をもつ仏像
55	大久保喜一展		文化財保護法施行30周年記念埼玉の指定文化財展—美術工芸品—	板碑展
56		編む	江戸のよそおい	木と漆の原始工芸—寿能泥炭層遺跡出土品展—
57			古代東国の甕	
58			新装開館記念特別展・武蔵武士	荒川の漁具・漁・祖おやの譜録
59	浮世絵	埼玉・岩手文化交流展 北武蔵 杖刀人とその時代	埼玉・岩手文化交流展 縄文の風景—大地と呪術—	江戸の風俗 —絵筆が語る町人文化—
60	宿場	激動の昭和	(外) メキシコの民芸 —太陽と神々の匠たち—	かお
61	古代の祭祀	(外) 古代メキシコ・オルメカ文明展	海上之邦おきなわ	武蔵ゆかりの武器・武具
62	秩父—繭そして信仰—	収蔵品展	(外) 埼玉県・山西省友好県省締結5周年記念—山西省文物展—	遊びとおもちや
63	日本のあけぼの	収蔵品展	さいたまの円空	古墳—かざり大刀の世界— 世界盆栽大会協賛特別企画展 樹盆—その美と歴史—
平成 元	世界盆栽大会協賛特別企画展 樹盆—その美と歴史— 比企—丘陵に生きた人々の暮らしと文化—	収蔵品展	(外) クイーンズランド文化展 —姉妹州の4万の歴史—	酒の文化史
2	さいたまの海 —縄文人からの伝言—	収蔵品展	南蛮の美術 —異国にあこがれた武将たち—	お金百態—寄託資料 埼玉銀行コレクションを中心に—
3	音のかたち—日本の音を探る—	収蔵品展	開館20周年記念展 さいたまの名宝 国宝・重要文化財	喫茶の考古学—茶の湯再発見— かたどられた折り—木・紙・藁のフォークロア
4	かたどられた折り—木・紙・藁のフォークロア	江戸のからくり夢空間—近代科学事始	はなのいろはうつりにけりな・・・歌仙絵の世界	鯉絵—鯉が踊れば世も動く— つぼ・かめ・すりばち—中世のやきものと暮らし
5	つぼ・かめ・すりばち—中世のやきものと暮らし	河童VS天狗 —人と妖怪の交流史—	魅る光彩—関東の出土金銅仏—	奉納された道中アルバム —絵馬にみる寺社参り—
6	相撲—むかしきけち、ぶ殿さへすまふとり—	子育ての原風景 —カミの子からムラの子へ—	検証！関東の弥生文化 —一粒の米が変えたくらし—	最新出土品展 さいたま地中からのメッセージ
7	親・天・望・気 —お天気の世界—	最新出土品展	古代東国の渡米文化	美の匠たち—日本刀をめぐる“わざ”の世界—
8	美の匠たち—日本刀をめぐる“わざ”の世界—	最新出土品展	太平記絵巻の世界	歴史を歩く—埼玉の札所めぐり—

年度	春	夏	秋	冬
9	歴史を歩く～埼玉の礼所めぐり～	最新出土品展	女帝明正天皇と将軍家光～松平信綱とその時代～	人形と張り子 桜花爛漫
10	桜花爛漫	最新出土品展	女性にはわーその装いとしぐさー	さいたまの鉄道
11	さいたまの鉄道	さいたま最新出土品展 '99	アイヌの四季と生活 ー十勝アイヌと絵師・平沢屏山ー	さいたまの名宝シリーズ2 ゆーお風呂の文化史～
12	ゆーお風呂の文化史～	最新出土品展	一象がゆくー将軍吉宗と宮廷雅	発掘された日本列島2000・さいたま出土品展
13		発掘調査速報展	埼玉の名宝シリーズ3ー神楽の風景ー	めざせ日本の近代化 ～日本の産業育てた渋沢栄一～
14	KEMARIー蹴鞠ー	発掘調査速報展	開設四百年 中山道ー武州往来ー	
15		埼玉の名宝シリーズ4 めざめろ古代ー新指定の考古資料ー	平林寺	銀座復興絵巻
16	銀座復興絵巻	埼玉県発掘調査速報展2004	国宝太刀・短刀と太平記絵巻	羽子板の美とわざ 年中行事絵巻
17	年中行事絵巻	あの遺跡この遺跡ー埼玉発掘50年史ー	刻まれた鼓動 ～歙宮院聖天堂の彫刻建築～	
18	芸能絵巻～舞い踊り囃す～	天下をまわって1300年 お金めぐる社会史	由来 伝来 名刀の一千年	祈りの風景 埼玉の絵馬
19	祈りの風景 埼玉の絵馬	博物館発ーちいさな旅ー埼玉遊覧案内ー	お伊勢さんと武蔵	日本の色彩～藍・紅・紫～
20		埼玉サッカー100年	名もなき至宝ーうけつがれし重要有形民俗文化財ー	誕生 武蔵武士
21		いただきます～食の文化史～	出張博物館in深谷	雑兵物語の世界
22	雑兵物語の世界	ヒーロー参上	仏教伝来 埼玉の古代寺院	降嫁150年記念 皇女和宮と中山道
23	降嫁150年記念 皇女和宮と中山道	あそび漫遊	円空 こころを刻むー埼玉の諸像を中心にー	大名と藩-天下泰平の立役者たち-
24	大名と藩 -天下泰平の立役者たち-	にほん美術夏期学校	職人のわざとカター商品の誕生ー	埼玉歴史街道Ⅰ -『新編武蔵風土記稿』の世界-
25	発掘された木の道具	絵で語る埼玉の民話 -池原昭治 童絵の世界-	狩野派と橋本雅邦 -そして近代日本画へ	關央道の遺跡 ～埼玉の発掘調査 西から東から～
26	渋沢敬三没後50周年記念事業 屋根裏部屋の博物館 -Attic Museum-	につぼん歴史街道 江戸の街道(みち) ～絵図でだどる宿場と関所～	甦る鉄剣	埼玉の自由民権
27	氷川神社と大宮公園	戦国図鑑 ーCool Basara Styleー	慈光寺 国宝 法華経一品經を守り伝える古刹	
28	蔵出し資料 ー館有コレクションの優品ー	高麗郡1300年 ー物と語りー	徳川家康 ー語り継がれる天下人ー	祝いの民俗 ーハレの造形ー
29	縄文の空間 ー暮らしと願いー	くらべる古美術 ー見て考える美術のひみつー	上杉家の名刀と三十五腰	明治天皇と氷川神社 ー行幸の軌跡ー
30	田んぼ ー埼玉、人と水の風景ー	古文書 大公開! ーみる・よむ・しらべる埼玉ー	ダムと変わる! 私たちの暮らし!	埼玉の官衙 ー律令時代の“お役所”ー
31 令和元	東国の地獄極楽	北沢楽天と時事漫画	子ども／おもちゃの博覧会	縄文時代のたべもの事情

利用案内

◆展示室等の観覧について

1 開館時間

午前9時から午後4時30分まで（入館は午後4時まで）

※7月1日から8月31日までは、午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

2 休館日

（1）月曜日（ただし祝日及び振替休日は開館）

（2）年末年始（12月29日から1月1日まで）

（3）館内消毒及び展示替えのため休館（6月11日から6月18日まで及び9月10日から9月11日まで）

3 展示解説

（1）各展示室では、学芸員、ボランティアが御希望に応じて解説・案内します。

（2）団体見学の場合は、10日前までにお申し込みください。

4 観覧料

（1）常設展示： 一般 300円（200円） ※（ ）内は団体（20人以上）料金
 高校・大学生 150円（100円）

（2）特別展・企画展開催期間中は別に定めます。

（3）次の方は無料で観覧できます。

① 義務教育修了前（中学生以下）の方

② 障害者の方（身体障害者手帳・療育手帳等の交付を受けている方）

③ 上記障害者の介護の方（障害者一人につき一人）

※ 65歳以上の方の観覧料につきましては、条例改正により、平成25年7月1日から一般の方と同額になりました。

5 観覧料の免除とその手続き

（1）次の場合は、「観覧料等減額（免除）申請書」に、実施計画書等を添付のうえ、観覧日の10日前までに提出していただくことにより観覧料を免除します。

① 教育課程に基づく学習活動やクラブ活動として観覧する幼稚園、保育所園、小・中学生の引率の方

② 教育課程に基づく学習活動やクラブ活動として観覧する高校・大学生・各種学校等の生徒とその引率の方

③ 埼玉県、埼玉県教育委員会、国、他の地方公共団体が開催する歴史と民俗の博物館の資料に関する事業（講演会、講習会、研究会等）を企画した主催（引率）の方

④ 埼玉県又は埼玉県教育委員会が開催する全国会議・ブロック会議・研修会等に参加し、会議又は研修会の日程の一環として観覧する方

（2）次の場合は、視察依頼書を提出していただくことにより観覧料を免除します。

① 埼玉県、埼玉県教育委員会、国、地方公共団体又は市町村等関係機関関係者で、歴史と民俗の博物館の事業及び施設設備の視察を目的とした観覧

（3）次の場合は、インフォメーションにお申し出いただくことにより観覧料を免除します。

- ① 教育課程に基づく学習活動のための下見をする方
- ② 歴史と民俗の博物館に資料を寄贈、寄託している方
- ③ 歴史と民俗の博物館が発行する優待券、招待券、ボランティア登録証をお持ちの方

6 問い合わせ先

埼玉県立歴史と民俗の博物館 総務担当

電話 048-641-0890 F A X 048-640-1964

◆講堂・講座室について

1 施設の概要

- (1) 講 堂 面積 227.52㎡ 収容人員 162人
- (2) 講座室 面積 60.48㎡ 収容人員 30人

2 利用料金

種 類	項 目 (貸出単位)	金額 (9/30まで)	金額 (10/1から予定)
施 設 使 用 料	講 堂 (1時間)	620円	630円
	講座室 (1時間)	160円	160円
附 属 設 備 使 用 料	音響設備 (1回)	110円	110円
	ビデオプロジェクター (1回)	830円	840円

- (1) 附属設備については、利用開始からその日の利用終了までで1回とします。
- (2) 使用料が減額又は免除になる場合があります。詳細についてはお問い合わせください。

3 注意事項

- (1) 次の場合、施設の御利用はできませんので、御了承ください。
 - ① 博物館の管理上支障があると認められるとき。
 - ② 公共の福祉を阻害するおそれがあると認められるとき。
 - ③ その他博物館の設置の目的に反すると認められるとき。
- (2) 施設利用を許可するにあたり、必要がある場合は、条件を付したり、制限を加えたりすることがあります。
- (3) 施設を利用できるのは、開館日の開館時間内のみです。
- (4) 利用時間には、準備及び片付けの時間も含まれます。
- (5) 利用を終了したときは、施設の状態を速やかに利用前の状態に戻してください。
施設や設備を損傷したり、備品等を紛失したり損傷したりしたときは、それを修理し、損害を賠償していただきます。
- (6) 附属設備、長机、予備椅子を利用したい場合は、事前に申し出てください。
- (7) 研究会等で図録等を販売しようとするとき、又は特別の設備等を利用しようとするときは、事前に申し出てください。
- (8) 講堂・講座室は地下1階にあり、エレベーター、スロープ等はありません。
階段昇降機が設置されておりますので、車椅子で御利用になる場合は、職員が操作いたします。
遠慮なくお申し出ください。

(9) 展示室は有料となりますので、展示室を御利用の際は観覧券をお買い求めください。

4 利用申込み

- (1) 原則として、利用日の属する月の3か月前の初日（その日が休館日である場合にはその翌日）から、利用日の7日前（その日が休館日である場合にはその前日）までに、埼玉県立歴史と民俗の博物館事務室まで「施設等利用（変更）許可申請書」を提出してください（原則として事務室まで直接お越しください。）。空き状況は電話で確認することができます。4月から5月までに使用されるための予約については、受付できない期間があります。
- (2) 予約及び申請の受付時間は、開館日の開館時間内のみです。
- (3) 申請に基づき、「施設等利用（変更）許可書」及び使用料の「納入通知書」を発行します。
- (4) 使用料については、「納入通知書」により、最寄りの金融機関等で納入期限までに納入してください。

5 申込み・問い合わせ先

埼玉県立歴史と民俗の博物館 施設担当
電話 048-641-0890 F A X 048-640-1964

◆資料の写真原板使用及び資料写真撮影・熟覧について

当館の所蔵資料で写真原板があるものについては有料で御利用いただけます。
また、保存上などで問題がない資料については、写真撮影・熟覧をお取り扱いいたします。

申込み・問い合わせ先

埼玉県立歴史と民俗の博物館 資料調査・活用担当
電話 048-645-8171 F A X 048-640-1964

◆資料の寄贈受入について

資料の寄贈希望がある場合は、資料調査・活用担当に御一報ください。事前調査をしたのち、書類手続きを行います。その後、資料評価会議に諮り、審議したのち正式に受け入れます。

※ 当館の資料受入基準から外れるもの、すでに同様の資料が収蔵されている場合などは、事前調査をすることなくお断りする場合がありますので御了承ください。

申込み・問い合わせ先

埼玉県立歴史と民俗の博物館 資料調査・活用担当
電話 048-645-8171 F A X 048-640-1964

MEMO



埼玉県のマスコット コバトン

令和元年度 埼玉県立歴史と民俗の博物館要覧（第14号）
〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4丁目219番地
TEL 048-645-8171（学芸）
TEL 048-641-0890（総務・施設）
FAX 048-640-1964
ホームページURL <http://www.saitama-rekimin.spec.ed.jp/>

発行：令和元年7月